ESET PROTECT ソリューション

V6 から V8 へのバージョンアップ手順書

第 7 版
2021 年 12 月 16 日
キヤノンマーケティングジャパン株式会社

目次

1. はじめに 3

2. 本資料における構成の前提 4

3. 新バージョンへのバージョンアップフロー 5

4. 【STEP1】ESET Remote Administrator サーバーのバックアップ 7

5. 【STEP2】新バージョン対応のためのミラーサーバー構築 12

6. 【STEP3】新バージョン対応したミラーサーバーからのアップデート準備 13

7. 【STEP4】クライアント用プログラムのバージョンアップ 24

8. 【STEP5】サーバーのバージョンアップ 33

9. 【STEP6】エージェントのバージョンアップ 51

10. 【STEP7】 ESET PROTECT での管理開始 57

11. 【STEP8】 既存ミラーサーバーへアップデート先変更 58

12. 【STEP9】新バージョン対応のために構築したミラーサーバーの停止 63

13. 【STEP10】 ESET PROTECT での管理開始 66

はじめに

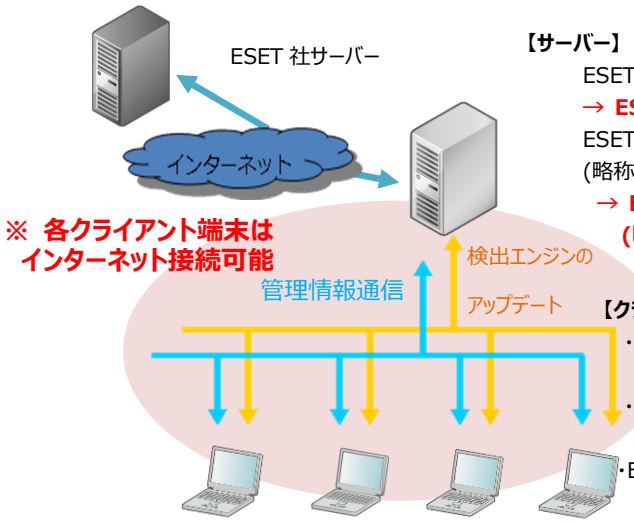
○本資料は、ESET PROTECT ソリューションをご利用のお客さまが旧バージョンからバージョン 8 へバージョンアップする際に必要となる作業や注意事項について記載しています。

○本資料は、本資料作成時のソフトウェア及びハードウェアの情報に基づき作成されています。ソフトウェアのバージョンアップなどにより、記載内容とソフトウェアに記載されている機能及び名称が異なっている場合があります。また、本資料の内容は将来予告なく変更することがあります。

1. 本資料における構成の前提

本資料は、以下の構成を前提として、V6 のプログラムから V8 へバージョンアップする際のフローや注意点を記載しております。以下の構成に当てはまらないバージョンや構成におきましても、本資料を参考にバージョンアップを実施いただけるように必要な情報を記載しております。

		バージョンアップ前	バージョンアップ後
全体構成		・Windows クライアント、300 台程度管理 ・モバイル管理なし ・1 台の専用サーバー機で管理機能とミラー機能を運用 ・プロキシサーバーなし ・オールインワンインストーラーを利用してインストール	・Windows クライアント、300 台程度管理 ・モバイル管理なし ・1 台の専用サーバー機で管理機能と ミラー機能を運用 ・プロキシサーバーなし ・既存サーバーを利用 ・各クライアント端末はインターネット接続可能
サーバー用 **(Windows Server 2016)**	管理	・ESET Remote Administrator V6.5	・ESET PROTECT V8.1
	ミラー	・ESET File Security for Microsoft Windows Server V6.5 または旧ミラーツール	・ESET Server Security for Microsoft Windows Server V8.0 または 2018 年 4 月 9 日以降公開のミラーツール
	ウイルス・スパイウェア対策	・ESET File Security for Microsoft Windows Server V6.5	・ESET Server Security for Microsoft Windows Server V8.0
クライアント用 **(Windows10)**	管理	・ESET Remote Administrator エージェント V6.5	・ESET Management エージェント V8.1
	ウイルス・スパイウェア対策	・ESET Endpoint Security V6.X または ESET Endpoint アンチウイルス V6.X	・ESET Endpoint Security V8.1 ・ESET Endpoint アンチウイルス V8.1



【サーバー】
ESET Remote Administrator Server V6.5 (略称 ERA V6.5)
→ ESET PROTECT V8.1 (略称 EP V8.1)
ESET File Security for Microsoft Windows Server V6.5
(略称 EFSW V6.5)
→ ESET Server Security for Microsoft Windows Server V8.0 (略称 ESSW V8.0)

【クライアント】
・ESET Endpoint Security V6.X (略称 EES V6.X)
→ ESET Endpoint Security V8.1 (略称 EES V8.1)
・ESET Endpoint アンチウイルス V6.X (略称 EEA V6.X)
→ ESET Endpoint アンチウイルス V8.1 (略称 EEA V8.1)
・ERA エージェント (略称 ERA エージェント V6.5)
→ESET Management エージェント (略称 EM エージェント V8.1)

2. 新バージョンへのバージョンアップフロー

V6 から V8 へバージョンアップにあたり必要なステップは、以下の通りです。

【STEP1】ESET Remote Administrator サーバーのバックアップ

STEP1-1. SQL Server Management Studio 18 のインストール

STEP1-2. ESET Remote Administrator のサービス停止

STEP1-3. データベースのバックアップ

STEP1-4. コンフィグレーションファイルのバックアップ

【STEP2】新バージョン対応のためのミラーサーバー構築

【STEP3】新バージョン対応したミラーサーバーからのアップデート準備

STEP3-1. バージョンアップ後の端末の自動グループ振り分け

STEP3-2. 新バージョン対応したミラーサーバーへアップデート先変更

【STEP4】クライアント用プログラムのバージョンアップ

STEP4-1. 動作要件の確認

STEP4-2. クライアント用プログラムのバージョンアップ

STEP4-3. アップデートの確認

【STEP5】サーバーのバージョンアップ

STEP5-1. 動作要件の確認

STEP5-2. ESET File Security for Microsoft Windows Server のバージョンアップ

STEP5-3. ESET PROTECT へバージョンアップ

STEP5-4. データベースのバックアップ

STEP5-5. ピア証明書と認証局のバックアップ

【STEP6】エージェントのバージョンアップ

STEP6-1. クライアントのエージェントをバージョンアップ

【STEP7】ESET PROTECT での管理開始

※本ステップ以降は任意で実施してください※

【STEP8】既存ミラーサーバーへアップデート先変更

STEP8-1. ESET Server Security for Microsoft Windows Server のミラー機能確認

STEP8-2. クライアント用プログラムのアップデート先変更

【STEP9】新バージョン対応のために構築したミラーサーバーの停止

【STEP10】ESET PROTECT での管理開始

<参考>

V6 をご利用時にミラーサーバーを使用していないお客様は、ミラーサーバーに関する以下の手順を実施いただく必要はございません。

【STEP2】新バージョン対応のためのミラーサーバー構築

【STEP3】新バージョン対応したミラーサーバーからのアップデート準備

STEP3-2. 新バージョン対応したミラーサーバーへアップデート先変更

【STEP8】既存ミラーサーバーへアップデート先変更

【STEP9】新バージョン対応のために構築したミラーサーバーの停止

3.【STEP1】ESET Remote Administrator サーバーのバックアップ

ESET Remote Administrator のバージョンアップをする前にデータをフルバックアップしてください。

STEP1-1. SQL Server Management Studio 18 のインストール

1. 以下 URL より、SQL Server Management Studio 18 をダウンロードし、サーバーへインストールしてください。

   <SQL Server Management Studio ダウンロードサイト>
   https://docs.microsoft.com/ja-jp/sql/ssms
   ※インストール後、再起動が要求された場合は再起動します。

2. 「Microsoft SQL Server Management Studio18」を起動できることを確認します。
   ※初めて起動する場合、起動に少々お時間がかかります。

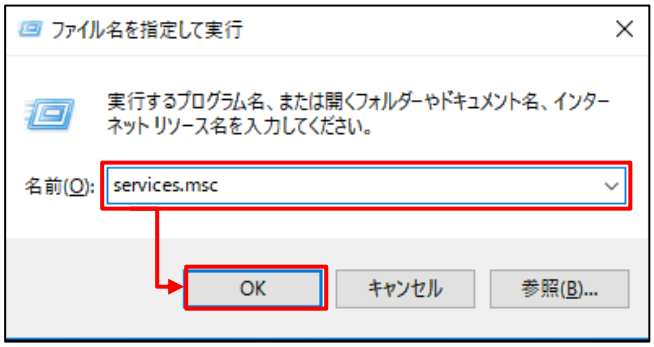
STEP1-2. ESET Remote Administrator のサービス停止

サーバーのデータベースのバックアップを取得するために、以下の手順を参照して ERA のサービスを停止させます。

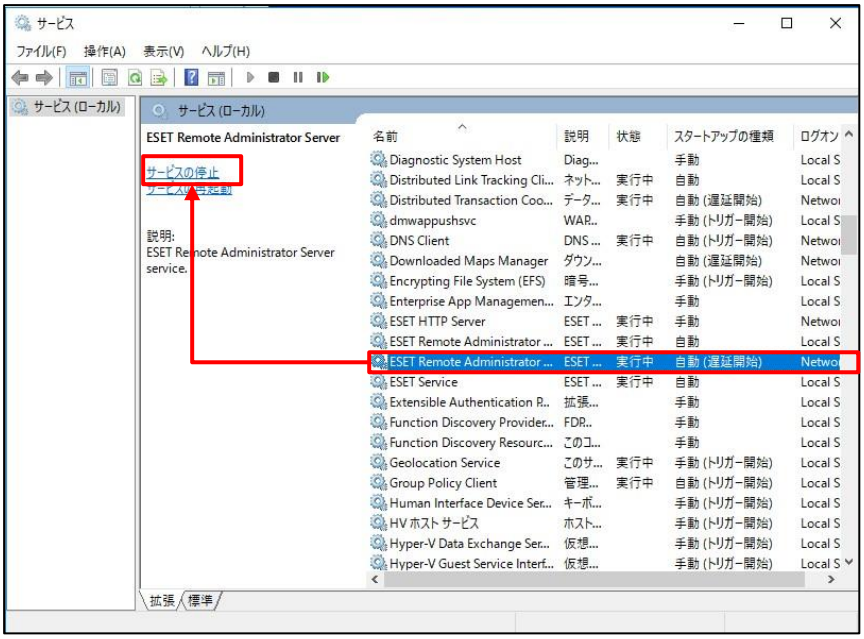
<注意>

ERA のサービスを一時的に停止するためクライアントを管理することができません。
サービスが停止している間のクライアントのログは、クライアント自身で保持しており、サービス起動後に通信が確立された段階で ERA にログが送付されます。

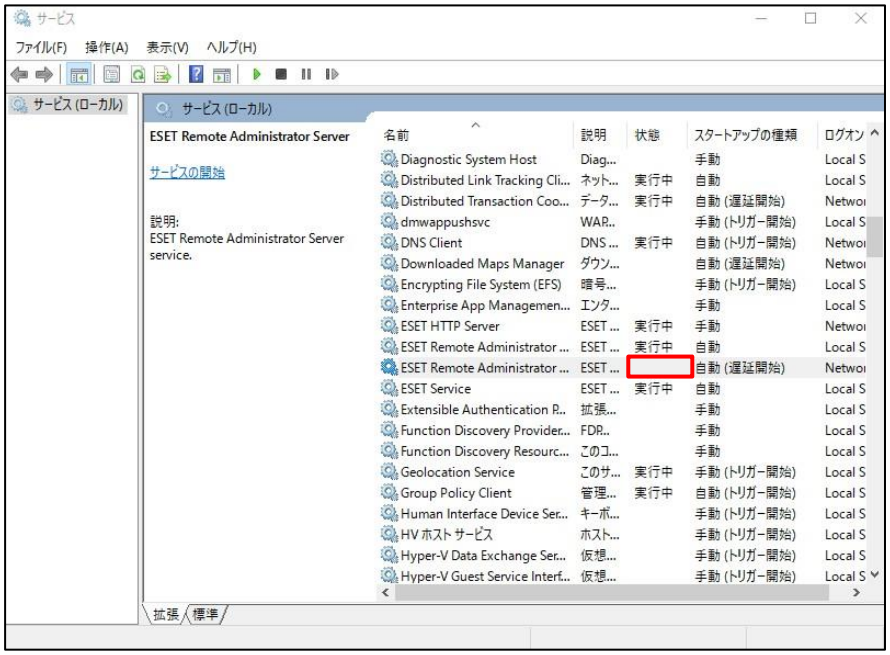
1. 「Windows キー」+「R」でファイル名を指定して実行させるウィンドウを開き「services.msc」と入力し、[OK]ボタンをクリックします。



2. 「ESET Remote Administrator Server」サービスを選択し、サービスの停止をクリックします。



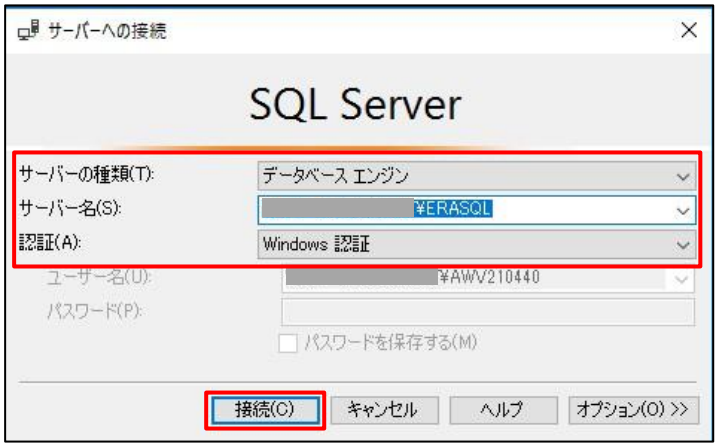
3. 「ESET Remote Administrator Server」サービスの状態が空欄になったことを確認します。



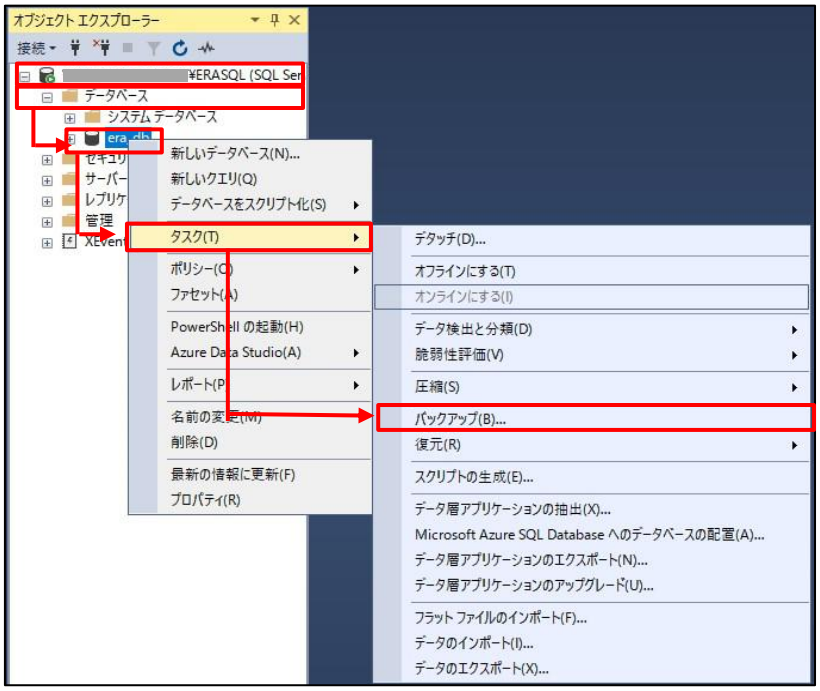
STEP1-3. データベースのバックアップ

1. 「Microsoft SQL Server Management Studio18」を起動できることを確認します。
   ※初めて起動する場合、起動に少々お時間がかかります。

2. サーバーへの接続画面で、項目が以下のようになっていることを確認して[接続]をクリックします。
   サーバーの種類：データベースエンジン
   サーバー名：旧コンピュータ名￥ERASQL
   認証：Windows 認証

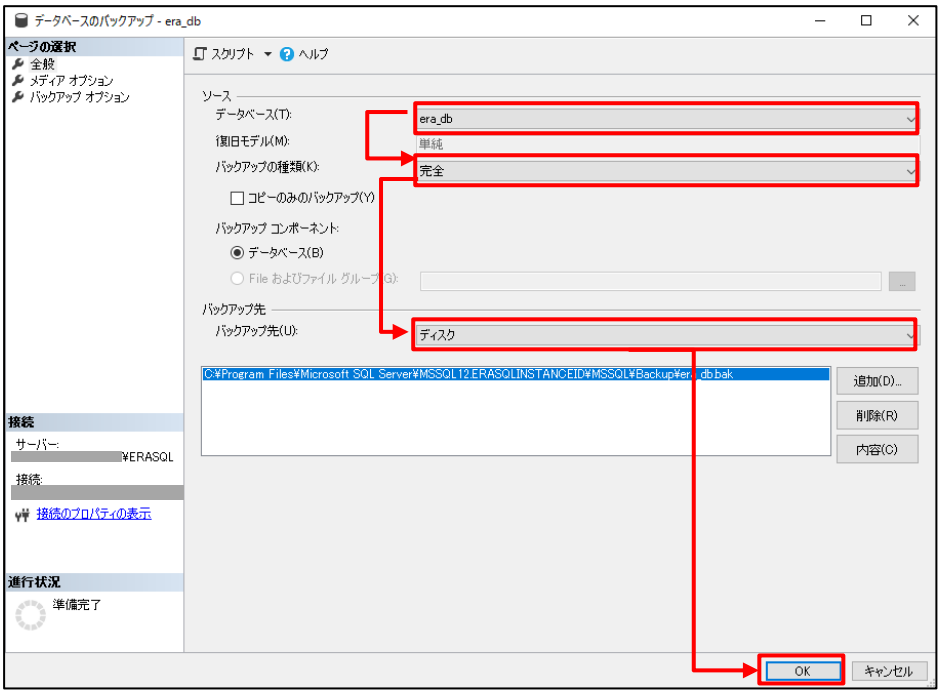


3. オブジェクトエクスプローラーより、[インスタンス名]-[データベース]-[era_db]へ移動します。
   「era_db」を右クリックし、[タスク]-[バックアップ]をクリックします。

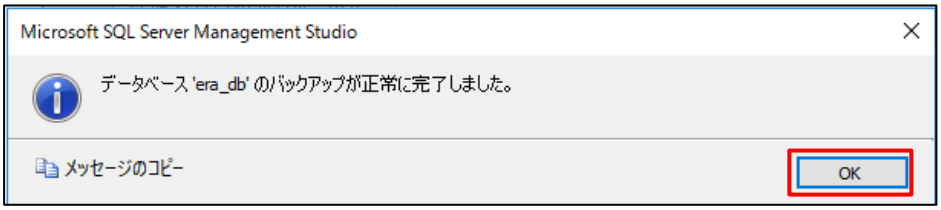


4. データベースのバックアップ画面で、以下の通り設定し、[OK]ボタンをクリックします。

データベース	era_db
バックアップの種類	完全
バックアップ先	ディスク



5. 以下のメッセージが表示されたらバックアップは正常に終了しています。
[OK]ボタンをクリックして、閉じます。



※「アクセスが拒否されました」といったエラーが出力された場合は、バックアップファイルの出力先にアクセス権限があるかご確認ください。

6. 手順 4 で作成したバックアップファイルが指定の場所に格納されていることを確認します。

STEP1-4. コンフィグレーションファイルのバックアップ

1. 以下のフォルダの「Startupconfiguration.ini」ファイルをコピーし、任意の場所に保存してください。

<Window Sever 2008/ Window Sever 2012/ Window Sever 2016/ Window Sever 2019 のディレクトリ>

C:¥ProgramData¥ESET¥RemoteAdministrator¥Server¥EraSeverApplicationData¥Configuration

※Mobile device Connector をインストールしている場合は、以下のフォルダの「Startupconfiguration.ini」ファイルもコピーし、任意の場所に保存してください。

<Window Sever 2008/ Window Sever 2012/ Window Sever 2016/ Window Sever 2019 のディレクトリ>

C:¥ProgramData¥ESET¥RemoteAdministrator¥MDMCore¥Configuration

2. バックアップ完了後、STEP1-2 を参考に ESET Remote Administrator Server サービスを起動してください。

<注意>

EP V8.1 のサポート OS は Windows Server 2012 以降です。
サポート OS に関しては、以下 URL をご確認ください。
https://eset-info.canon-its.jp/files/user/pdf/support/esetbe_os_era.pdf

<参考>

オンプレミス型セキュリティ管理ツールのバージョンアップに失敗した場合、データベースとコンフィグレーションファイルのバックアップを使用して、バージョンアップ前の状態に復元することができます。
<オンプレミス型セキュリティ管理ツールのフルバックアップをする手順、および、リストアする手順について>
https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/119?site_domain=business

また、バージョンアップ時にデータの引き継ぎに失敗した場合は、サポートセンターまでお問い合わせください。
<お問い合わせ窓口(サポートセンター)のご案内>
https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/883?site_domain=business

4.【STEP2】新バージョン対応のためのミラーサーバー構築

ESET Endpoint Security および、ESET Endpoint アンチウイルスのクライアント用プログラムが V8.X にバージョンアップした後のアップデート先ミラーサーバーを事前に作成します。

◆新規でサーバーを用意する場合

ESET Server Security for Microsoft Windows Server V8.0 を利用して、新バージョン対応のミラーサーバーを構築します。

以下の URL をご参照ください。
＜プログラムのミラー機能を使用してミラーサーバーを構築するには？＞
https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/12163?site_domain=business

◆既存サーバーを利用する場合

2018 年 4 月 9 日以降公開開始のミラーツールを利用して新バージョン対応のミラーサーバーを既存サーバーと共存した状態で構築します。

以下の URL をご参照ください。
＜Windows Server 環境でミラーツールを使用してミラーサーバーを構築するには?＞
https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/4341?site_domain=business
＜IIS を利用して検出エンジン(ウイルス定義データベース)を公開する手順＞
https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/9499?site_domain=business
※「2. IIS 環境の構築」-「STEP.2 IIS の設定」の「手順 4」のポート設定の箇所は、既存で利用しているポートとは、別ポートを設定してください。

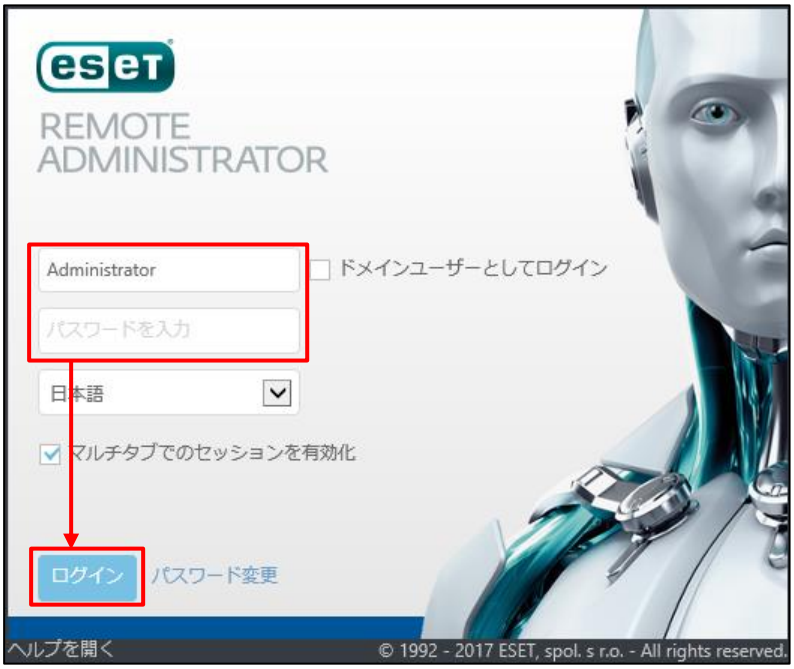
5.【STEP3】新バージョン対応したミラーサーバーからのアップデート準備

【STEP4】以降で、**管理しているクライアント用プログラムとエージェントを V8.X にバージョンアップした後、自動で端末が振り分けられるバージョンアップ完了確認用のグループをそれぞれ作成します。**また、【STEP2】で作成したミラーサーバーからのアップデートに自動的に変更するように、アップデート先の変更設定を行います。

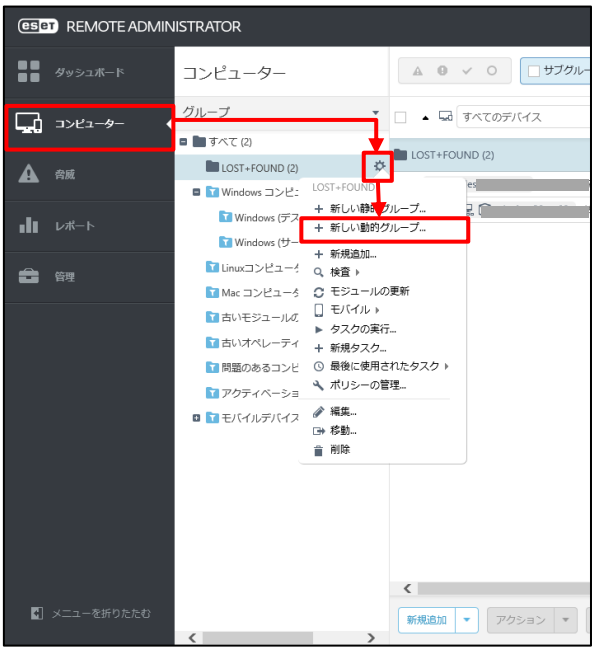
STEP3-1. バージョンアップ後の端末の自動グループ振り分け

※本資料では、クライアント用プログラムのバージョンアップ完了確認用の動的グループを例に説明します。以下の手順を参考に、エージェントのバージョンアップ完了確認用のグループも別途作成してください。

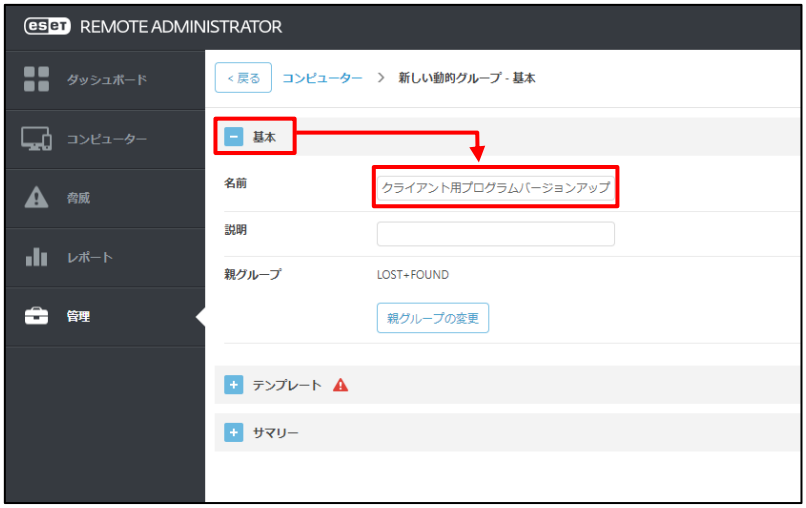
1. ERA Web コンソール を起動して、ESET Remote Administrator Server に接続します。
   ユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン]ボタンをクリックします。
   ※ ERA Web コンソールには以下の URL よりアクセスできます。
   https://＜管理サーバーのサーバー名、または、IP アドレス＞/era/



2. [コンピューター]より、バージョンアップするクライアント端末が所属する静的グループを選択し、[歯車]-[新しい動的グループ…]をクリックします。
※本手順では、既定でクライアントが所属する[LOST＋FOUND]を選択します。



3. [基本]を展開し、任意の名前(例：クライアント用プログラムバージョンアップ完了グループ)を入力します。※ [説明]の入力は任意です。

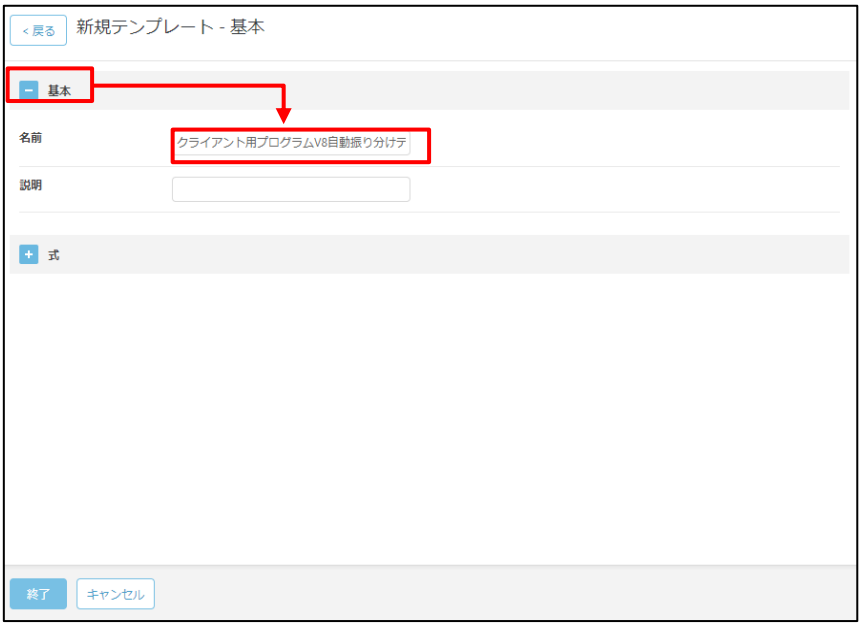


<参考>

エージェントのバージョンアップ完了確認用のグループを作成する場合は、以下のように動的グループ名を変更してください。
(例：エージェントバージョンアップ完了グループ)

4. [テンプレート]を展開し、[新規作成]ボタンをクリックします。

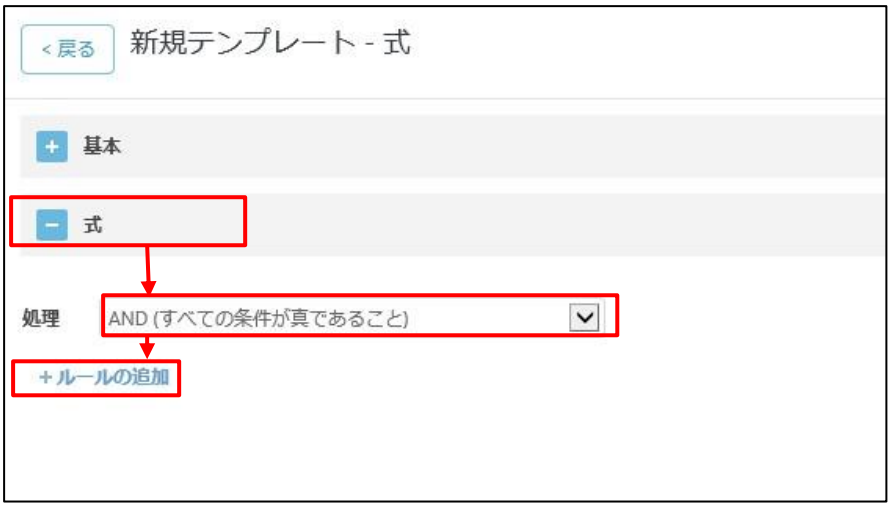
5. [基本]を展開し、任意の名前(例：クライアント用プログラム V8 自動振り分けテンプレート)を入力します。
※[説明]の入力は任意です



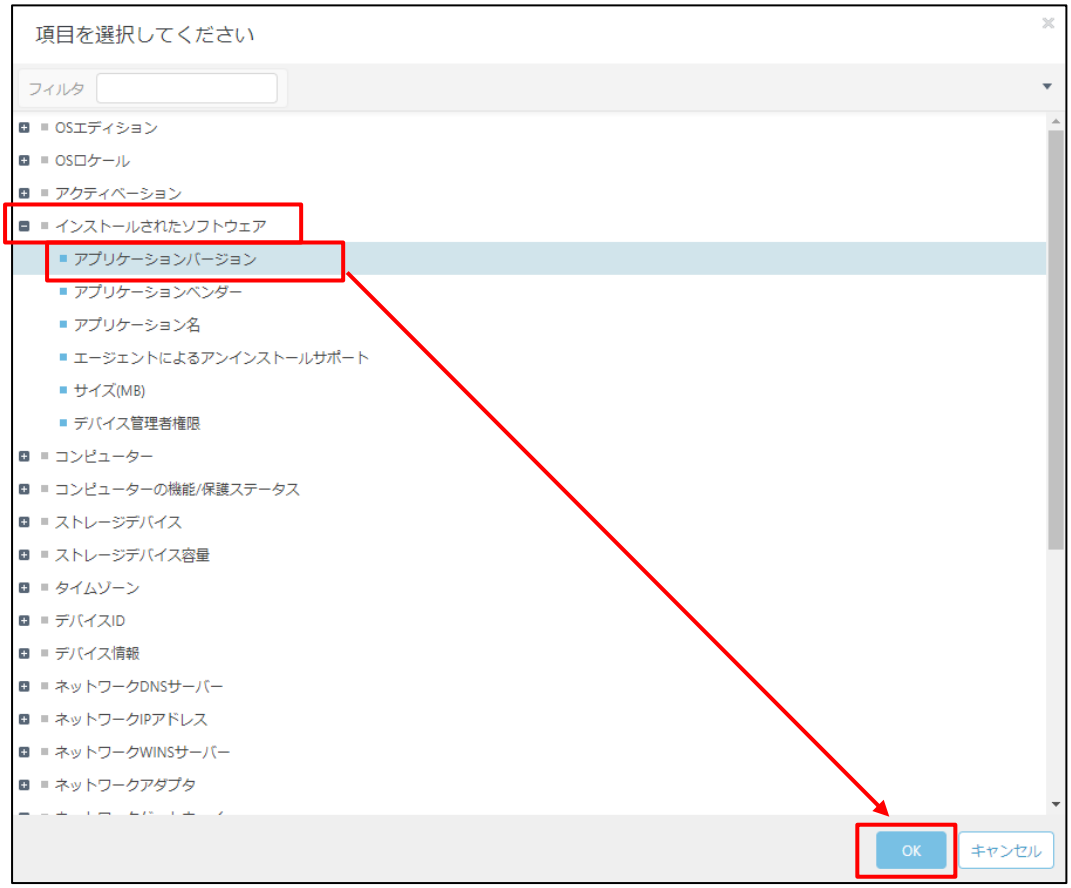
<参考>

エージェントのバージョンアップ完了確認用のテンプレートを作成する場合は、以下のようにテンプレート名を変更してください。
(例：エージェント V8 自動振り分けテンプレート)

6. [式]を展開し、処理に「AND(すべての条件が真であること)」を選択します。
[＋ルールの追加]をクリックします。

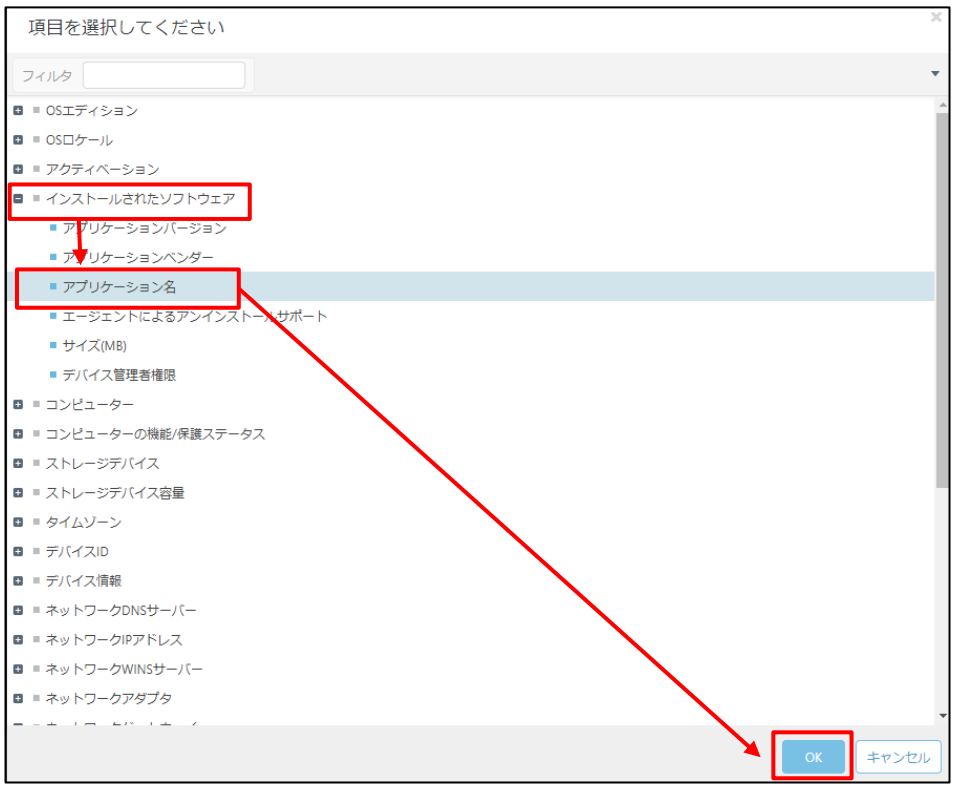


7. [インストールされたソフトウェア]-[アプリケーションバージョン]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。

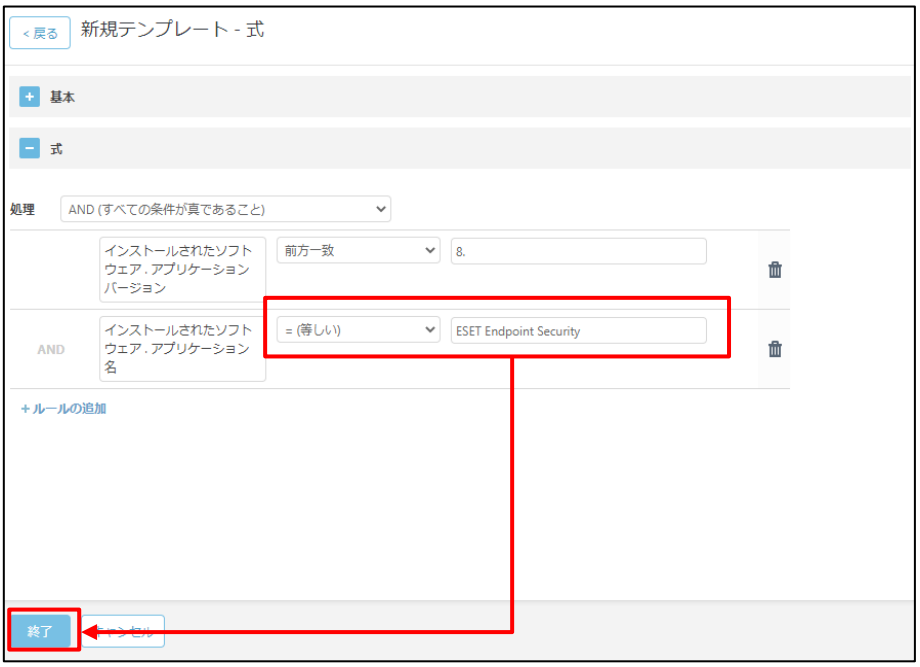


8. 「前方一致」を選択し、条件に「8.」と入力します。
[＋ルールの追加]をクリックします。

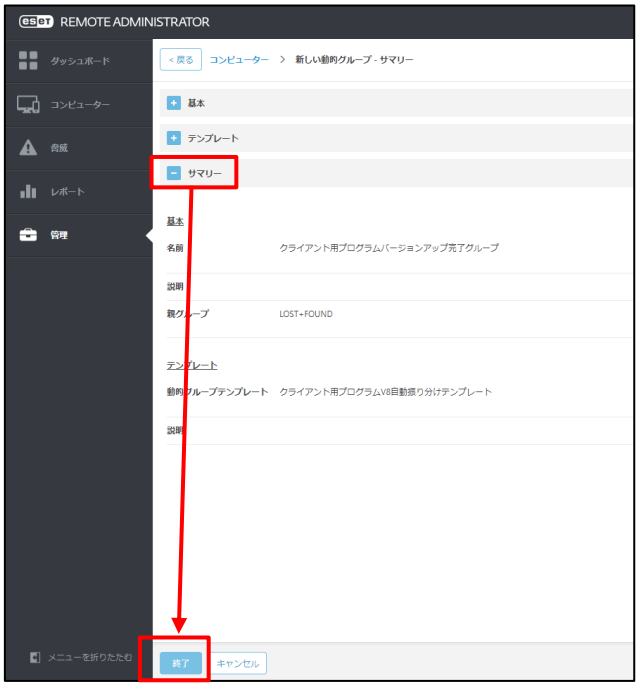
9. [インストールされたソフトウェア]-[アプリケーション名]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。



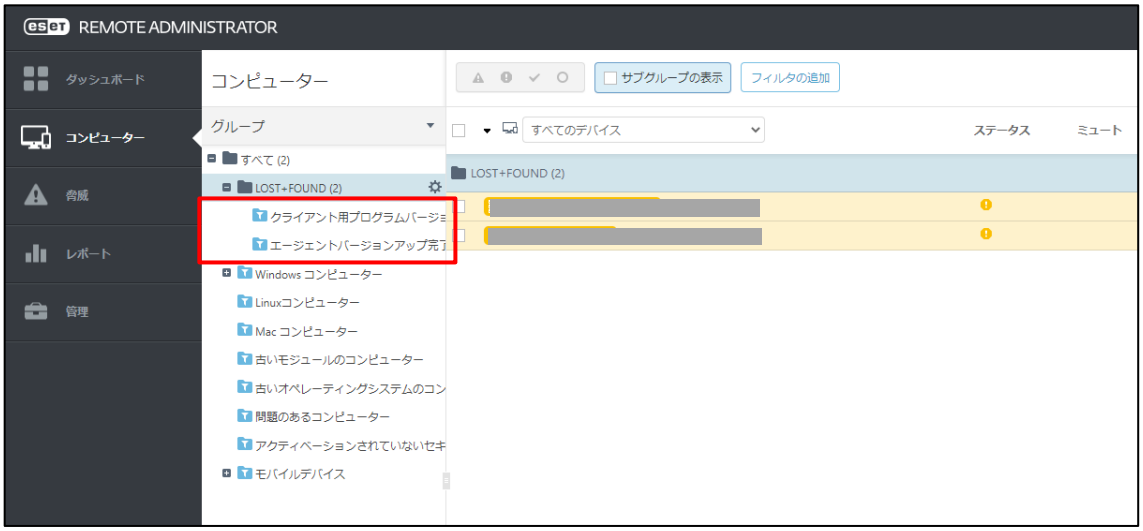
10. 「等しい」を選択し、条件に**「ESET Endpoint Security」**または**「ESET Endpoint Antivirus」**を入力します。手順 8 で設定した条件と、本手順 10 で設定した条件の二つが指定されていることを確認し、[終了]ボタンをクリックします。
※エージェントのバージョンアップ完了を確認する動的グループを作成する場合は、条件に「ESET Management Agent」を入力します。



11. [サマリー]の内容を確認し、[終了」ボタンをクリックします。

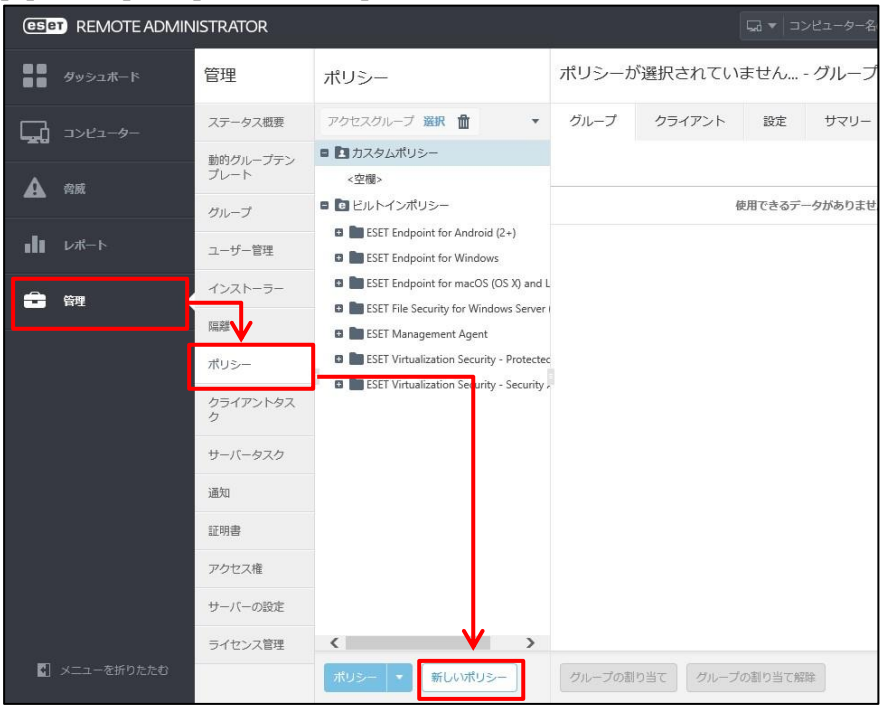


12. バージョンアップするクライアント端末が所属する静的グループの下に、作成した動的グループがあることを確認します。



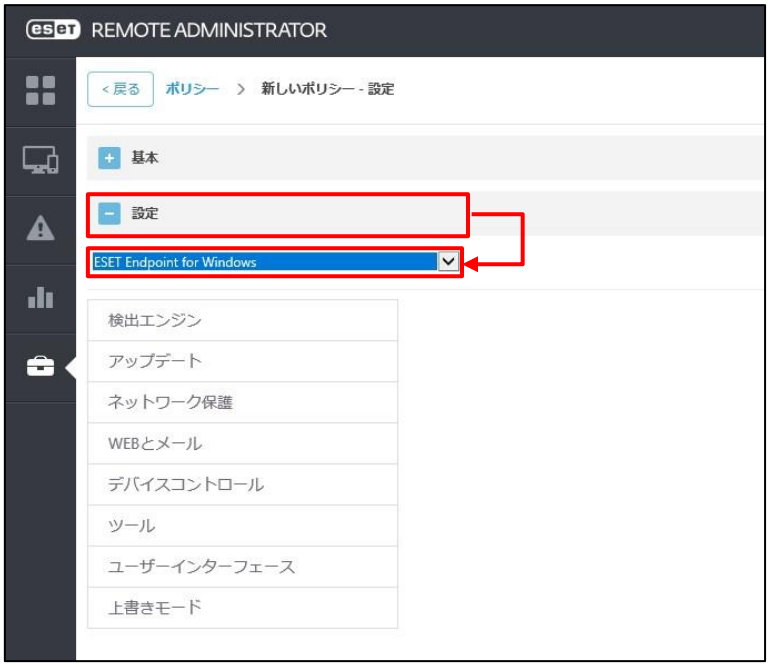
STEP3-2.新バージョン対応したミラーサーバーへアップデート先変更

1. [管理]-[ポリシー]より、[新しいポリシー]ボタンをクリックします。



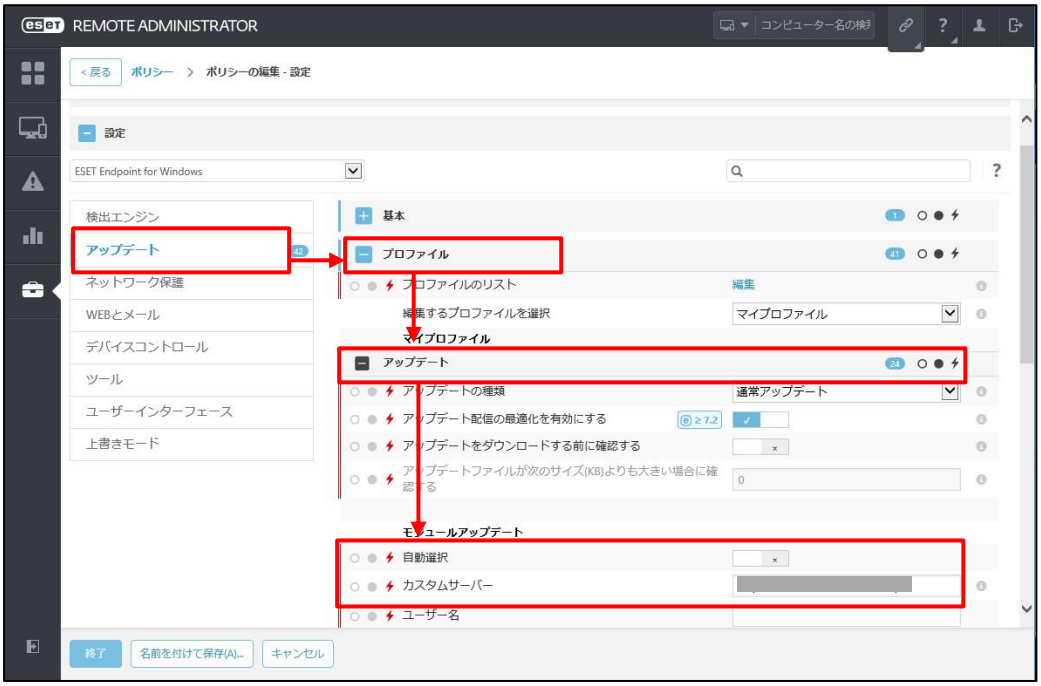
2. [基本]を展開し、任意の名前(例：V8 用検出エンジンアップデートポリシー)を入力します。
※[説明]の入力は任意です。

3. [設定]を展開し、製品を選択します。
※本手順では「ESET Endpoint for Windows」を選択します。

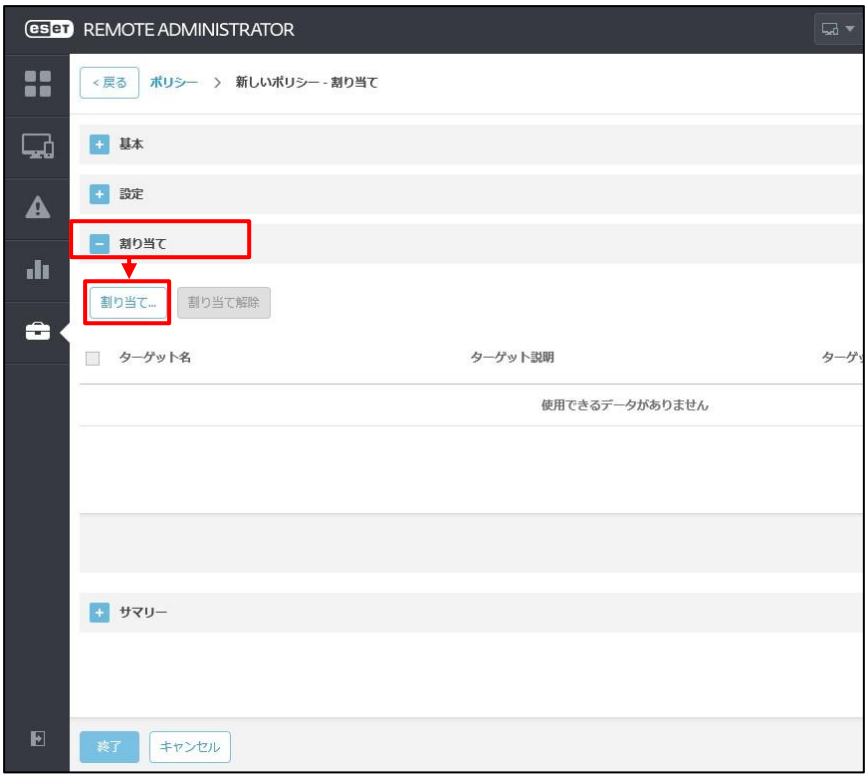


4. [アップデート]-[プロファイル]-[アップデート]と展開し、以下の通り設定します。
フラグは、「 」の強制適用を選択します。

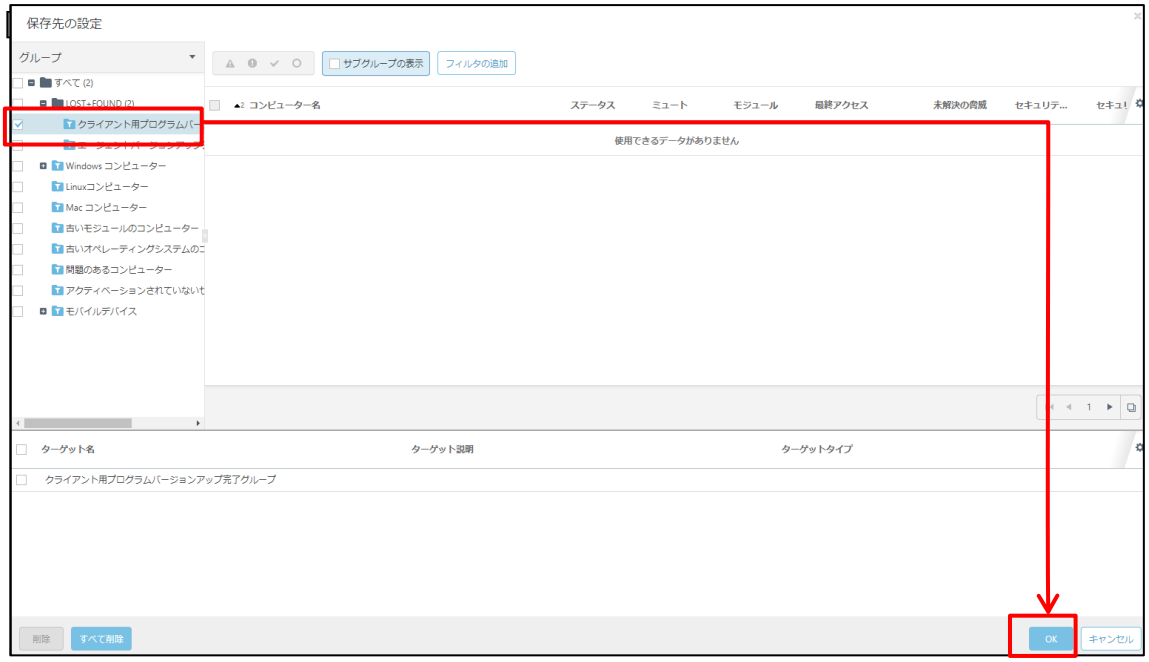
モジュールアップデート	
自動選択	無効
カスタムサーバー	http://<新バージョン対応のミラーサーバーIP アドレス>:<ポート> ※【STEP2】で新バージョン対応のために構築した<ミラーサーバーIP アドレス>と<ポート>を入力してください。



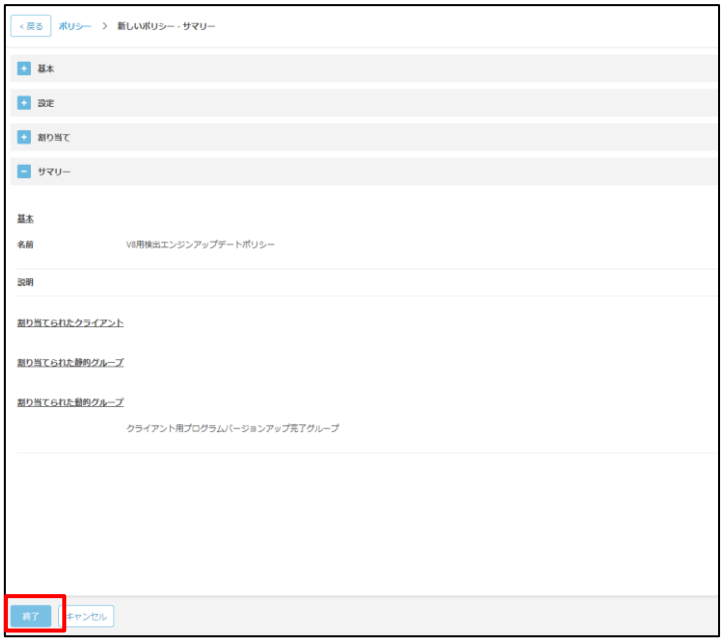
5. [割り当て]を展開し、[割り当て…]ボタンをクリックします。



6. 【STEP3-1】で作成した、**「クライアント用プログラムバージョンアップ完了グループ」**を選択します。



7. [サマリー]の内容を確認し、[終了]ボタンをクリックします。



しばらくすると、ポリシーが適用されます。

以上で、新バージョンに対応したミラーサーバーからのアップデート準備は完了です。

<参考>

サーバー用プログラムの EFSW(管理サーバーにインストールされている EFSW を除く)も管理している場合は、以下ご注意のうえ、アップデートの準備をしてください。

① STEP3-1 の手順 5 ではサーバー用プログラムを振り分けるための動的グループであることが分かるような名前を入力してください。
② STEP3-1 の動的グループ作成時の手順 8 では、「前方一致」を選択し、条件に「8.」と入力します。
③ STEP3-1 の動的グループ作成時の手順 10 では、「ESET Server Security」を入力します。
④ 「ルールの追加」をクリックし、「コンピューター」-「管理された製品マスク」を選択し、条件「not in」の「ESET Remote Administrator：ERA サーバー」を追加します。
⑤ STEP3-2 のポリシー作成時の手順 2 では、バージョンアップするサーバー用プログラムのためのポリシーであることが分かるような名前を入力してください。
⑥ STEP3-2 のポリシー作成時の手順 3 では、製品で「ESET File Security for Windows Server(V6+)」を選択します。

6.【STEP4】クライアント用プログラムのバージョンアップ

<注意>

ESSW V8.X / EES V8.X / EEA V8.X / 2018 年 4 月 9 日以降公開のミラーツールで構築したミラーサーバーから下記のプログラムが検出エンジンのアップデートを実施すると、**コンピューターがフリーズする可能性がございます。**

・ESET Endpoint Security　V6.4/V6.3/V6.2
・ESET Endpoint アンチウイルス　V6.4/V6.3/V6.2
・ESET File Security for Microsoft Windows Server V6.4/V6.3/V6.2

＜特定の条件下で、検出エンジンのアップデートを実施している一部のコンピューター、および、 サーバーがフリーズする＞
https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/10371?site_domain=business

STEP4-1. 動作要件の確認

バージョンアップの前に、EES V8.1 と EEA V8.1 の動作要件を確認します。

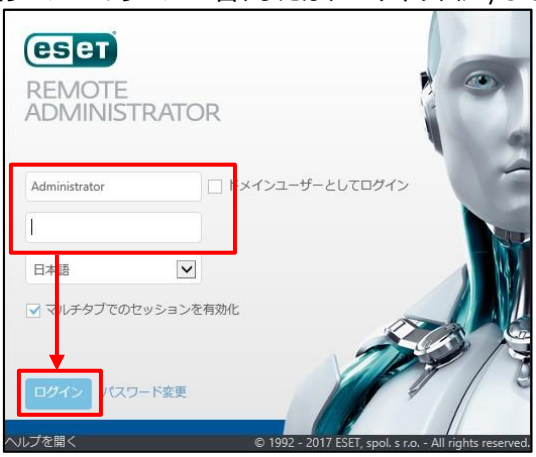
＜ESET Endpoint Security / ESET Endpoint アンチウイルス 動作要件＞

・ESET PROTECT Entry オンプレミス(旧名称：ESET Endpoint Protection Advanced)をご利用のお客様
https://eset-info.canon-its.jp/business/ep-entry-o/spec.html

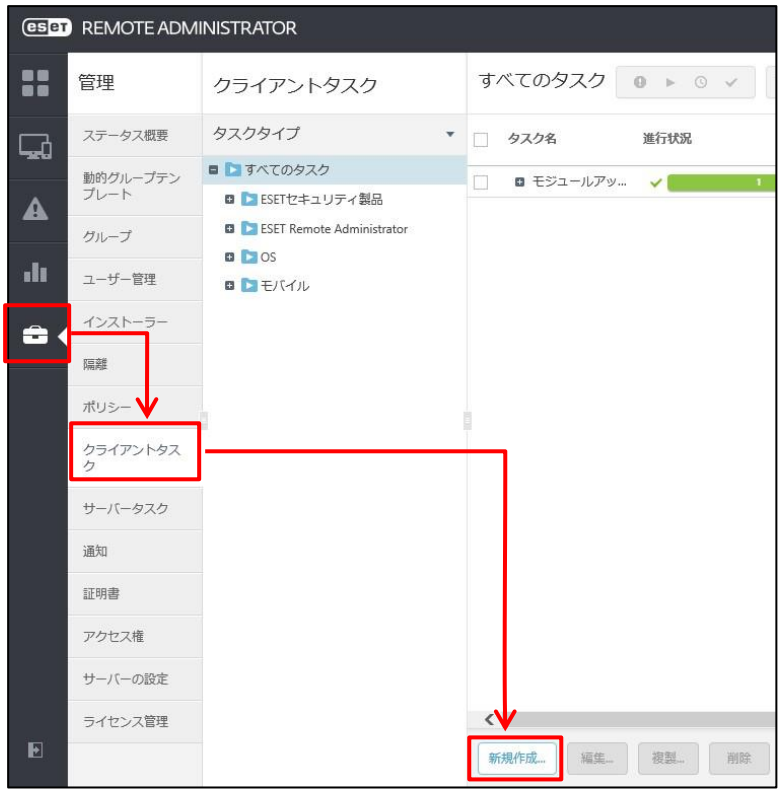
・ESET PROTECT Essential オンプレミス(旧名称：ESET Endpoint Protection Standard)をご利用のお客様
https://eset-info.canon-its.jp/business/ep-essential-o/spec.html

STEP4-2. クライアント用プログラムのバージョンアップ

1. ERA Web コンソール を起動して、ESET Remote Administrator Server に接続します。
ユーザー名とパスワードを入力し、「ログイン」ボタンをクリックします。
※ ERA Web コンソールには以下の URL よりアクセスできます。
https://＜管理サーバーのサーバー名、または、IP アドレス＞/era/



2. [管理]-[クライアントタスク]より、[新規作成]ボタンをクリックします。



3. [基本]を展開し、以下の通り設定します。

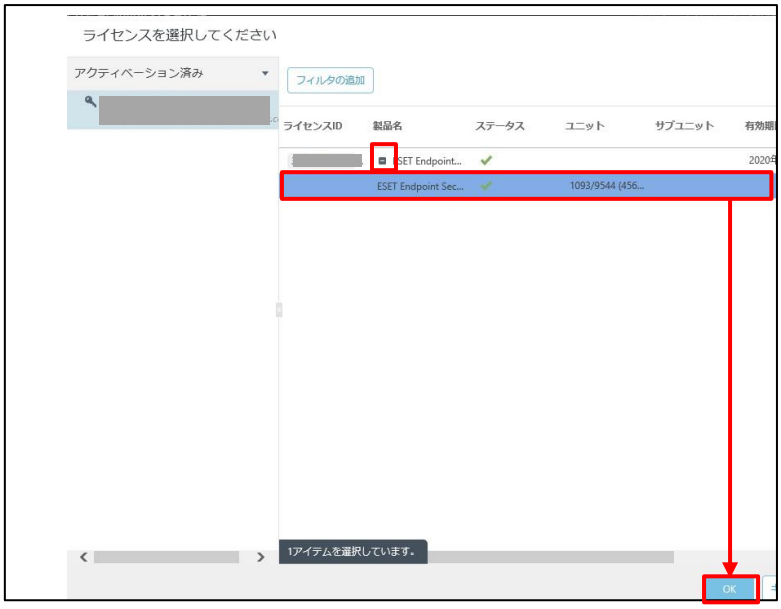
名前	任意の名前(例：V8 バージョンアップタスク)
説明	任意の説明
タスク分類	すべてのタスク
タスク	ソフトウェアインストール

4. [設定]を展開し、「アプリケーションエンドユーザー使用許諾契約に同意します」にチェックを入れます。「＜ESET ライセンスを選択＞」をクリックします。

5. 「＋」を展開し、ご利用ライセンスを選択のうえ、[OK]ボタンをクリックします。
※ご利用されている管理プログラムによっては、以下のエラーメッセージが表示され、作業が進まなくなってしまう場合があります。
◆タスクの作成に失敗しました：ライセンスサーバーへの接続に失敗しました
上記エラーが表示され場合、「キャンセル」ボタンよりタスクの作成を中止後、再度タスクの作成を実施してください。その際、本手順の 4～5 にてご案内している ESET ライセンスは選択せずに作業を進めてください。

＜注意＞

製品名には以下いずれかのライセンス情報が表示されていますのでメモをします。
・ESET Endpoint Antivirus + ESET Server Security
・ESET Endpoint Security + ESET Server Security

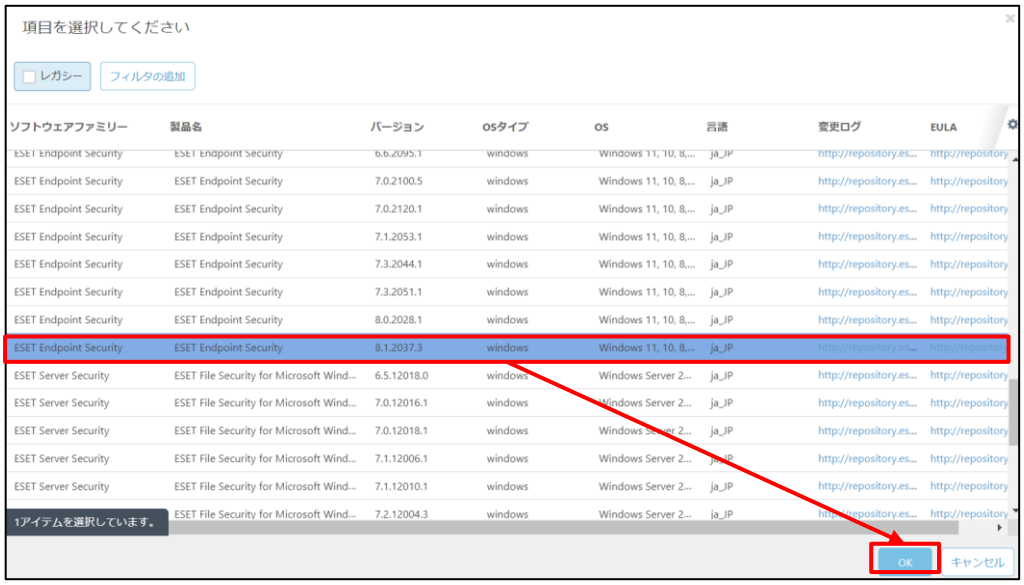


6. 「リポジトリからパッケージをインストール」を選択し、「 <パッケージの選択> 」をクリックします。

7. バージョンアップする製品を選択し、[OK]ボタンをクリックします。

<注意>

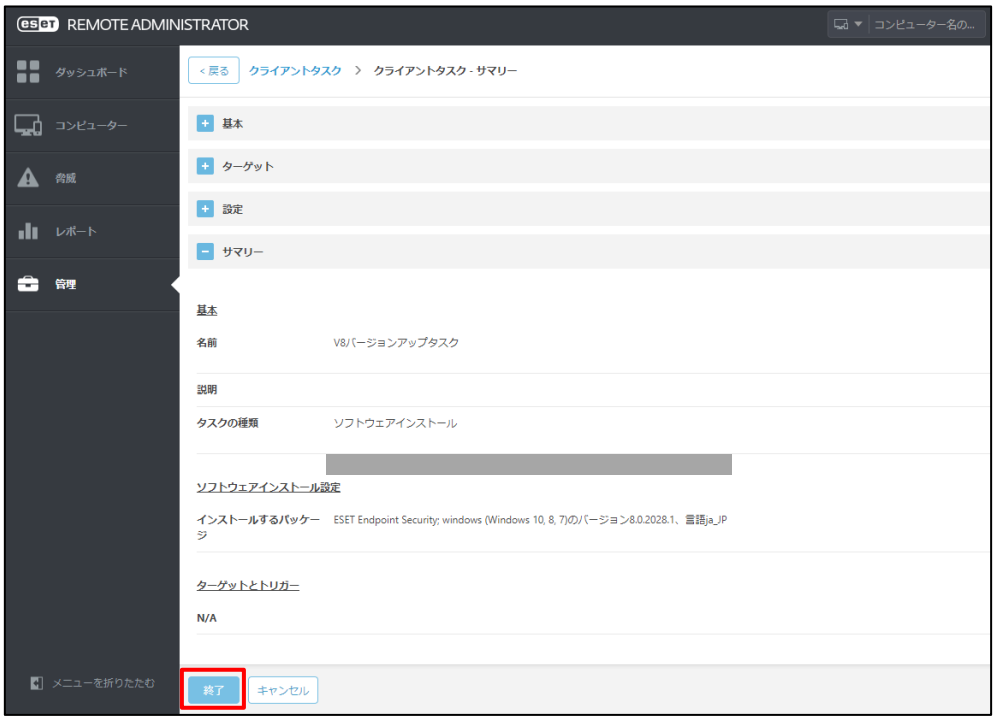
バージョンアップする製品は、お客様のご利用されているライセンスに合わせた製品を選択します。
・ESET Endpoint Antivirus + ESET Server Security：
　　ESET Endpoint Antivirus を選択します。
・ESET Endpoint Security + ESET Server Security：
　　ESET Endpoint Security、または ESET Endpoint Antivirus を選択します。
※製品選択を間違えないようにご注意ください。(バージョンが、8.1.xx.x を選択してください)



<参考>

サーバー用プログラムの EFSW(管理サーバーにインストールされている EFSW を除く)をバージョンアップする場合は、製品名で「ESET Server Security for Microsoft Windows Server」を選択します。

8. [サマリー]の内容を確認し、[終了]ボタンをクリックします。

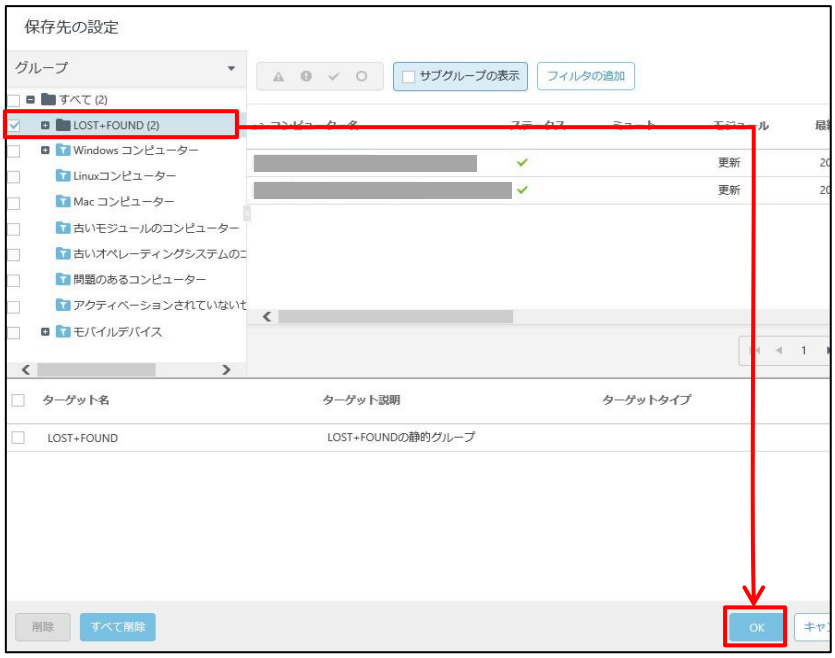


9. 以下の画面が表示されたら、[トリガーの作成]ボタンをクリックします。

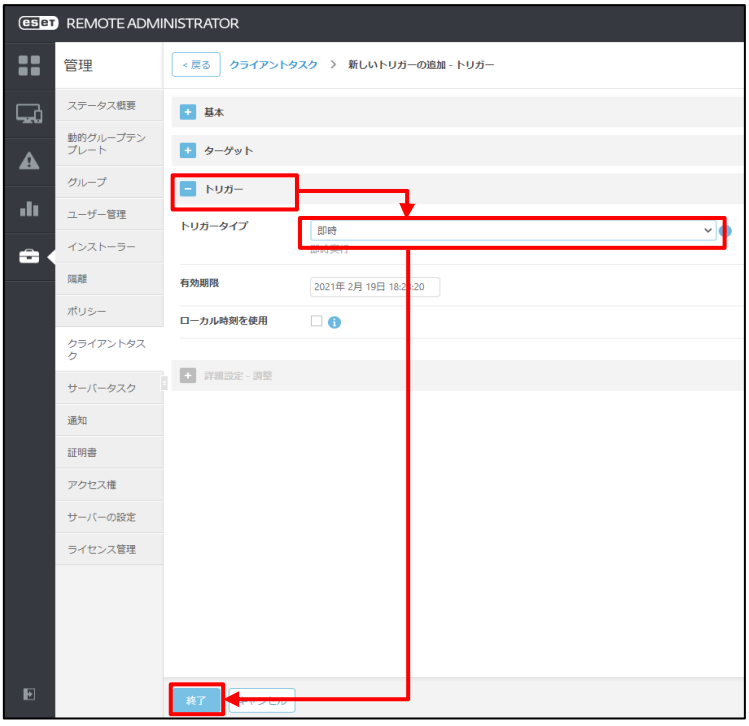
10. [基本]を展開し、任意のトリガーの説明(例：V8 バージョンアップトリガー)を入力します。

11. [ターゲット]を展開し、「コンピューターの追加」または「グループの追加」を選択します。
※本手順では「グループの追加」を選択します。

12. バージョンアップするクライアントが所属するグループを選択し、[OK]ボタンをクリックします。



13. [トリガー]を展開し、トリガータイプを選択します。
※本手順では「即時」を選択します。
[終了]ボタンをクリックします。



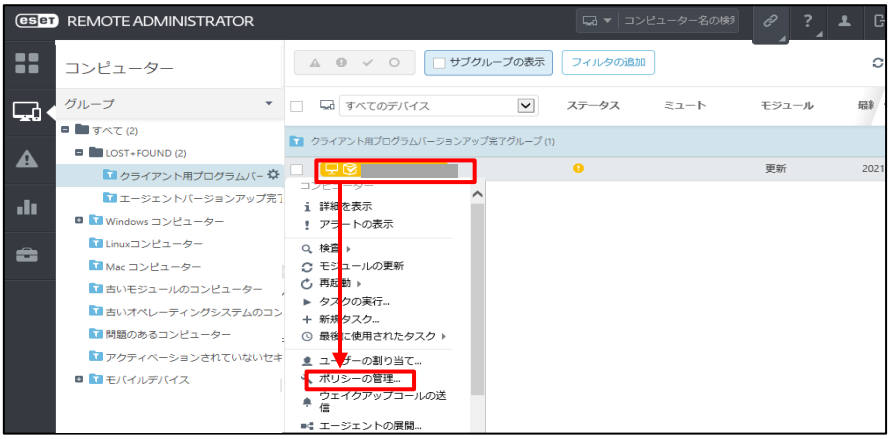
＜参考＞

タスクの実行により、クライアント端末からインターネットへバージョンアップ実施のための通信が発生します。ネットワークの負荷を懸念される場合は、グループやクライアントごとに実行時間を分散することをご検討ください。

14. 「コンピューター」より、【STEP3-1】で作成した**「クライアント用プログラムバージョンアップ完了グループ」**に、バージョンアップしたクライアントが所属していることをご確認ください。
※バージョンアップ後は再起動が必要なため、アラートが表示されます。その場合は、クライアントの再起動を行ってください。また、再起動後も ERA エージェント V6.5 のバージョンアップを促すアラートが表示されることがありますが、EM エージェント V8.1 にバージョンアップ後に解消されます。

STEP4-3. アップデートの確認

1. 【STEP3-1】で作成した、**「クライアント用プログラムバージョンアップ完了グループ」**に所属するクライアントを選択し、「ポリシーの管理」をクリックします。



2. 「継承されたポリシー」に【STEP3-2】で作成した、V8 用検出エンジンアップデートポリシーが適用されていることを確認します。

3. 「コンピューター」に戻り、モジュールが更新されていることを確認します。
※クライアントの接続間隔によっては、ポリシーの反映やクライアント状態の更新に時間を要する可能性があります。最終アクセスが直近の日時に更新されたうえで、ご確認ください。

7.【STEP5】サーバーのバージョンアップ

サーバーにインストールされている ERA と EFSW をバージョンアップします。

STEP5-1.動作要件の確認

バージョンアップの前に、EP V8.X と ESSW V8.X の動作要件を確認します。
変更点がいくつかございますので、必ず事前にご確認のうえ、バージョンアップを実施してください。

＜ESET PROTECT 動作要件＞
https://eset-info.canon-its.jp/business/ep/#spec

＜ESET Server Security for Microsoft Windows Server 動作要件＞
・ESET PROTECT Entry オンプレミス(旧名称：ESET Endpoint Protection Advanced)をご利用のお客様
https://eset-info.canon-its.jp/business/ep-entry-o/spec.html
・ESET PROTECT Essential オンプレミス(旧名称：ESET Endpoint Protection Standard)をご利用のお客様
https://eset-info.canon-its.jp/business/ep-essential-o/spec.html

＜参考＞

EP V8.0 以降では、64bit 版の Java が必要です。
なお、ERA V6.5 で利用している、Oracle 社提供の Java Runtime Environment 8 は公式アップデートを終了しております。
＜Java Runtime Environment 8 のサポート終了に伴う今後の対応について＞
https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/13127?site_domain=business

そのため、有償の JRE もしくは以下の URL を参照し、無償のオープンソース JDK の移行を実施してください。
＜【移行手順】Windows Server 環境に構築済みのオンプレミス型セキュリティ管理ツールで、オープンソース JDK を利用するには？＞
https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/13052?site_domain=business

＜参考＞

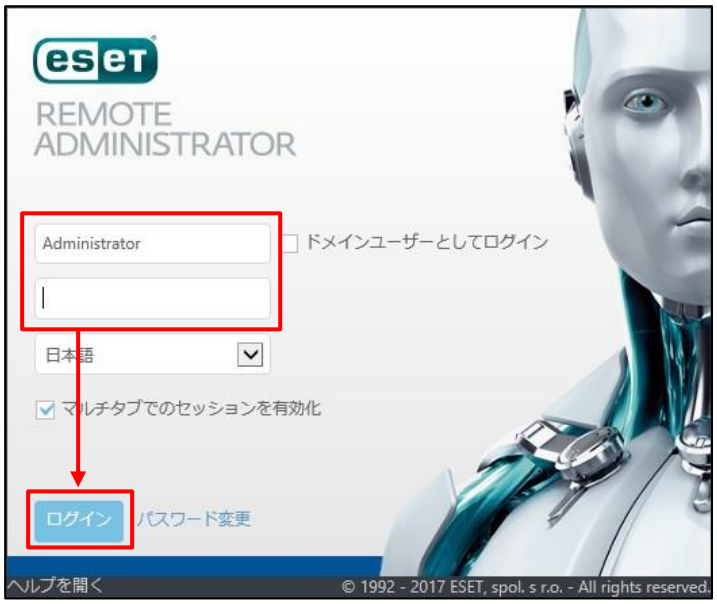
EP V8.0 以降では、Apache Tomcat 9(64bit)が必要です。
32bit 版を利用している場合は、32bit 版をアンインストール後、64bit 版をインストールしてからオンプレミス型セキュリティ管理ツールのバージョンアップを実施してください。
64bit 版のインストールにつきましては、以下 URL 内の「事前準備-3．Java と Apache Tomcat のバージョンアップ、または、64bit 版のダウンロード(項番 4 除く)」を参照してください。
＜Windows Server 環境でコンポーネントプログラムのインストーラーを利用して、オンプレミス型セキュリティ管理ツールをバージョンアップする手順＞
https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/4773?site_domain=business
※既に 64bit 版を利用している場合は、Apache Tomcat の事前バージョンアップは必要ありません。

＜参考＞

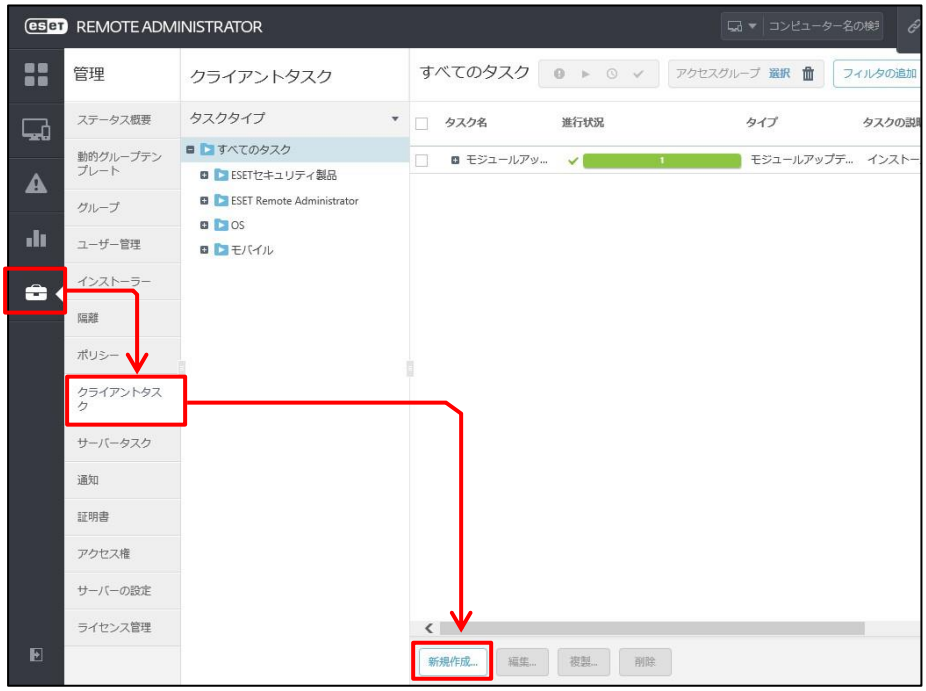
Microsoft SQL Server 2008 R2 以前のデータベースをご利用の場合は、先に Microsoft SQL Server 2014 以降へアップグレードしたうえで、サーバーのバージョンアップを実施してください。

STEP5-2. ESET File Security for Microsoft Windows Server のバージョンアップ

1. ERA Web コンソール を起動して、ESET Remote Administrator Server に接続します。
   ユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン]ボタンをクリックします。
   ※ ERA Web コンソールには以下の URL よりアクセスできます。
   https://＜管理サーバーのサーバー名、または、IP アドレス＞/era/



2. [管理]-[クライアントタスク]より、[新規作成]ボタンをクリックします。



3. [基本]を展開し、以下の通り設定します。

名前	任意の名前(例：ESSW V8 バージョンアップタスク)
説明	任意の説明
タスク分類	すべてのタスク
タスク	ソフトウェアインストール

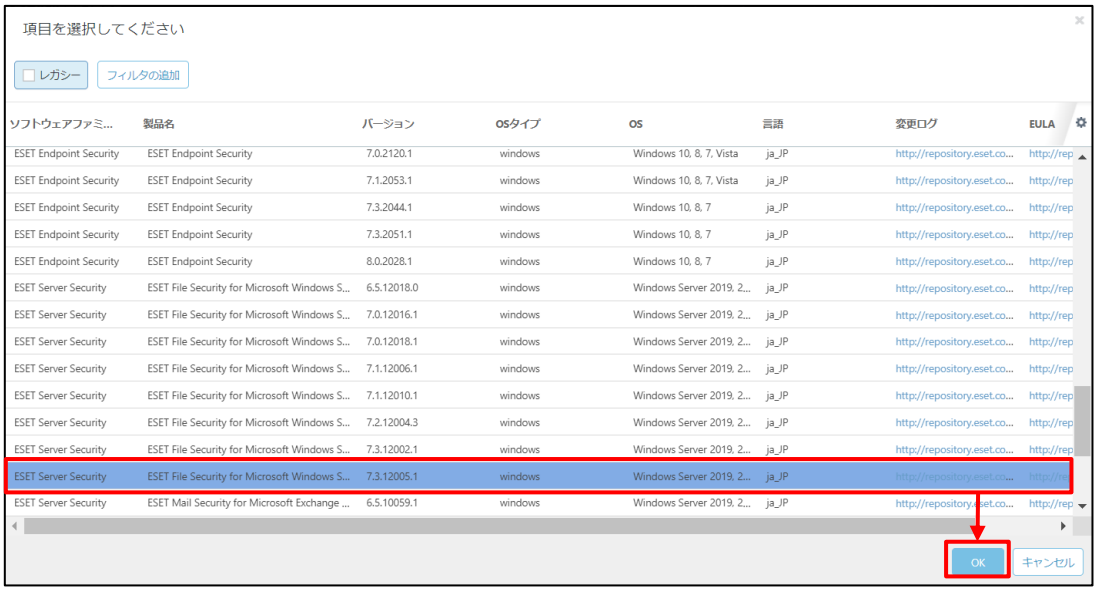
4. [設定]を展開し、「アプリケーションエンドユーザー使用許諾契約に同意します」にチェックを入れます。「＜ESET ライセンスを選択＞」をクリックします。

5. 「＋」を展開し、ご利用ライセンスを選択のうえ、[OK]ボタンをクリックします。

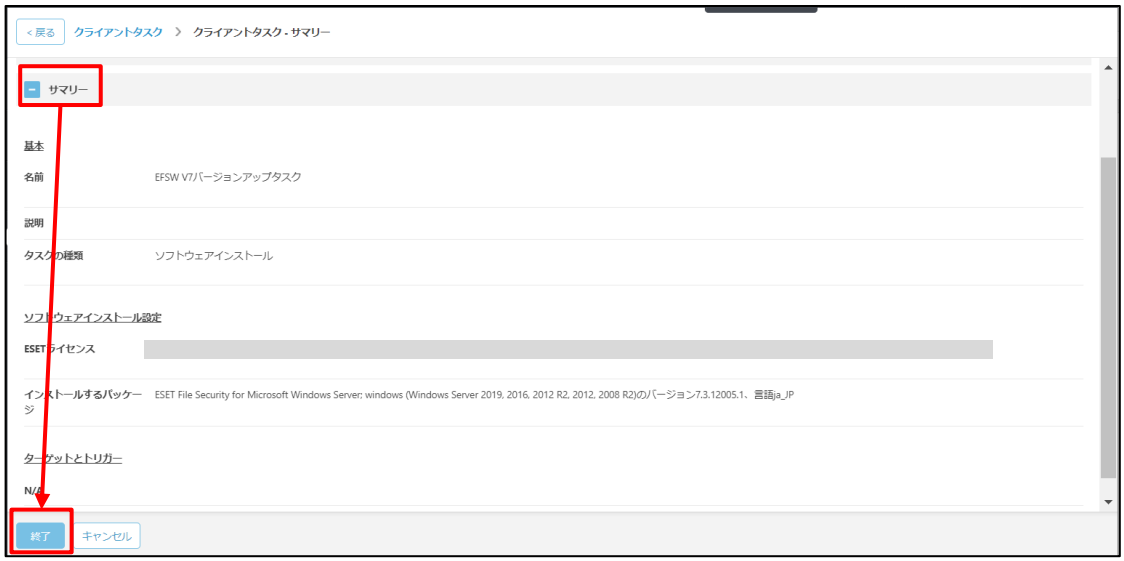
6. 「リポジトリからパッケージをインストール」を選択し、「 <パッケージの選択> 」をクリックします。

7. 「ESET Server Security for Microsoft Windows Server」の最新バージョン「8.0」選択し、[OK]ボタンをクリックします。

※以下画像では例として「ESET File Security for Microsoft Windows Server V7.3」を選択しています。



8. [サマリー]の内容を確認し、[終了]ボタンをクリックします。

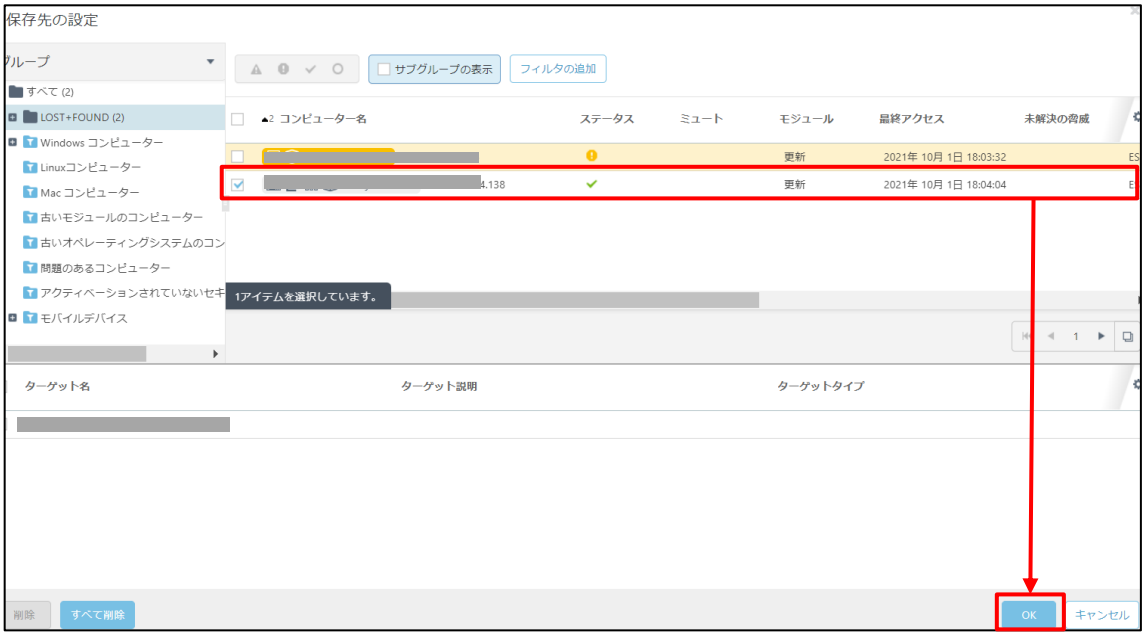


9. 以下の画面が表示されたら、[トリガーの作成]ボタンをクリックします。

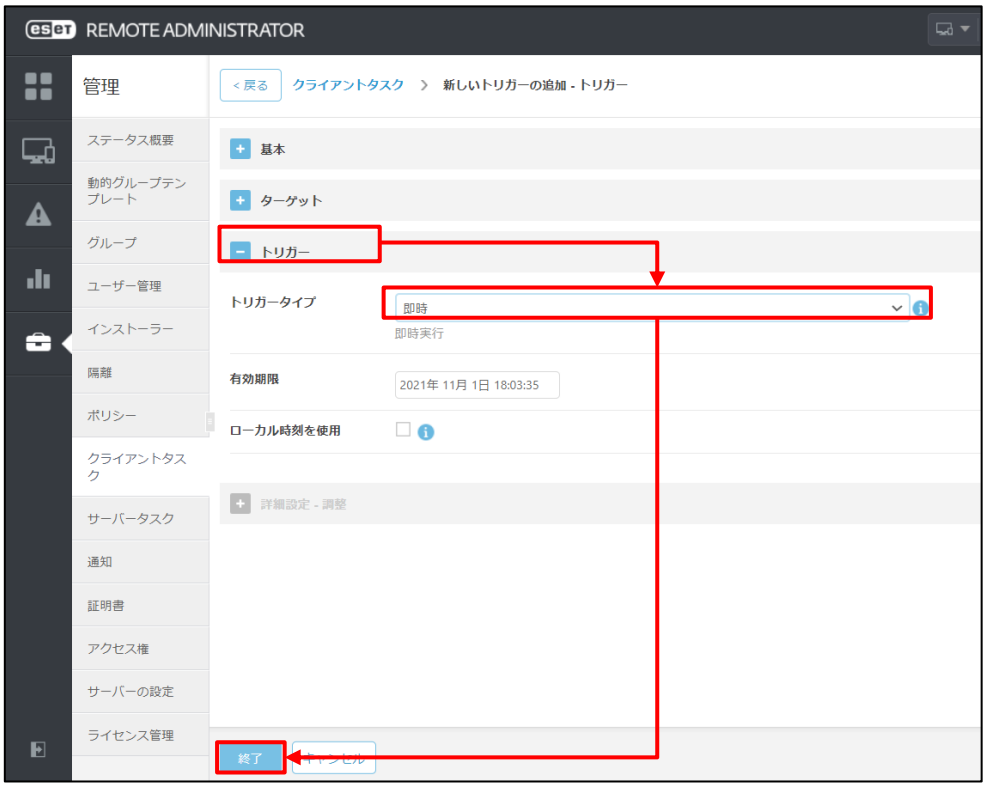
10. [基本]を展開し、任意のトリガーの説明(例：ESSW V8 バージョンアップトリガー)を入力します。

11. [ターゲット]を展開し、「コンピューターの追加」をクリックします。

12. EFSW のインストールされている管理兼ミラーサーバーを選択し、[OK]ボタンをクリックします。



13. [トリガー]を展開し、トリガータイプを選択します。
※本手順書では「即時」を選択します。
[終了]ボタンをクリックします。



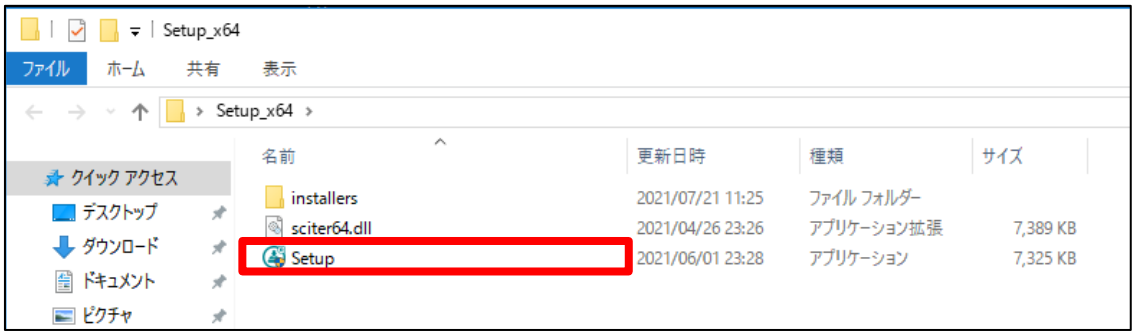
14. 「コンピューター」より、タスクを実行した管理兼ミラーサーバーのバージョンが「V8.X」にバージョンアップしていることをご確認ください。
※「再起動」を促すアラートが表示されますが、次の STEP を実行後に再起動いたします。

STEP5-3. ESET PROTECT へバージョンアップ

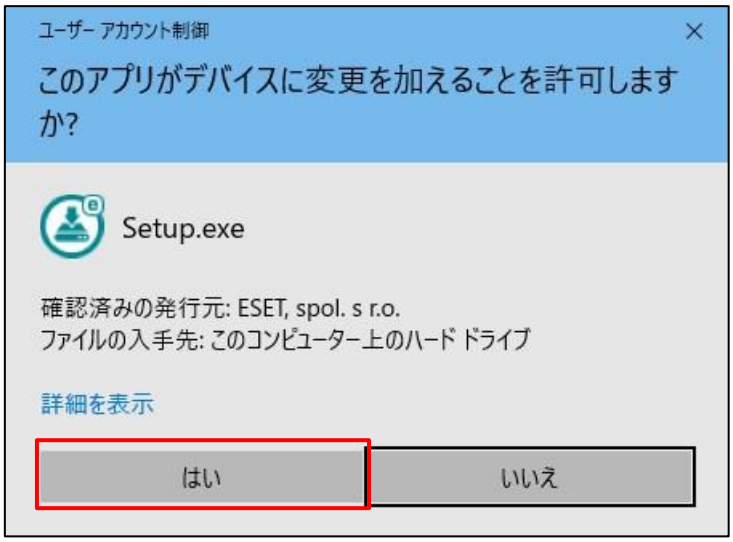
1. ユーザーズサイトより、「ESET PROTECT [Ver 8.1.XX.X]」のオールインワンインストーラーをダウンロードします。

[ユーザーズサイト]
https://canon-its.jp/product/eset/users/index.html
※ユーザーズサイトにログインするにはシリアル番号とユーザー名が必要です。
※ユーザーズサイトで[プログラム/マニュアル]-[プログラムの一覧からダウンロード]に進むとインストーラーがあります。

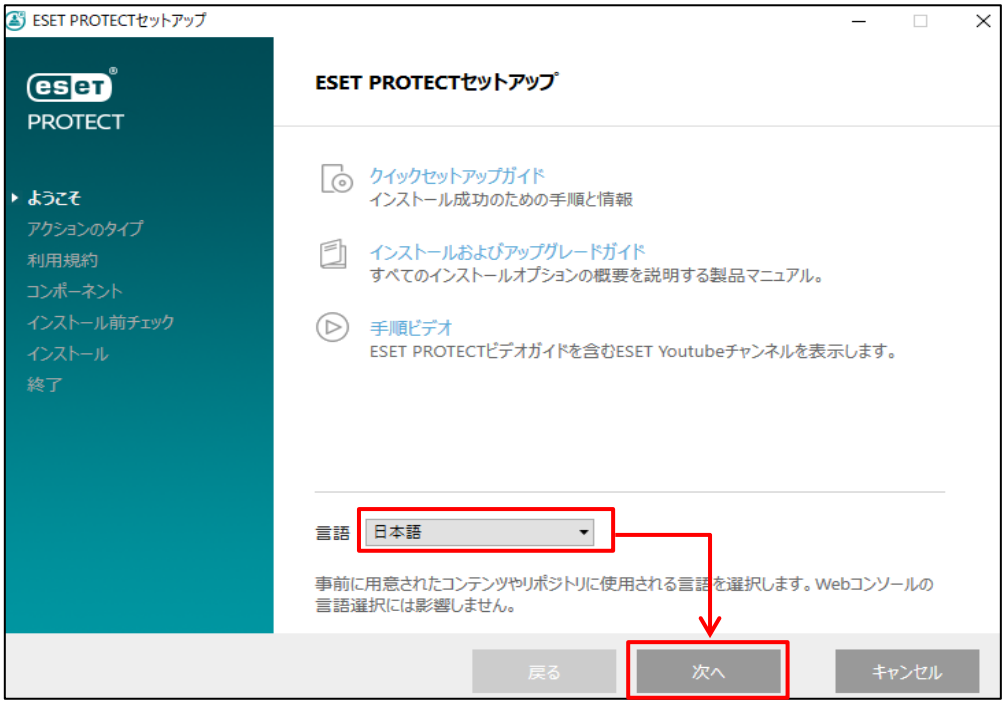
2. ユーザーズサイトからダウンロードした「Setup_x64.zip」をサーバー上で展開し、「Setup.exe」をダブルクリックで実行します。



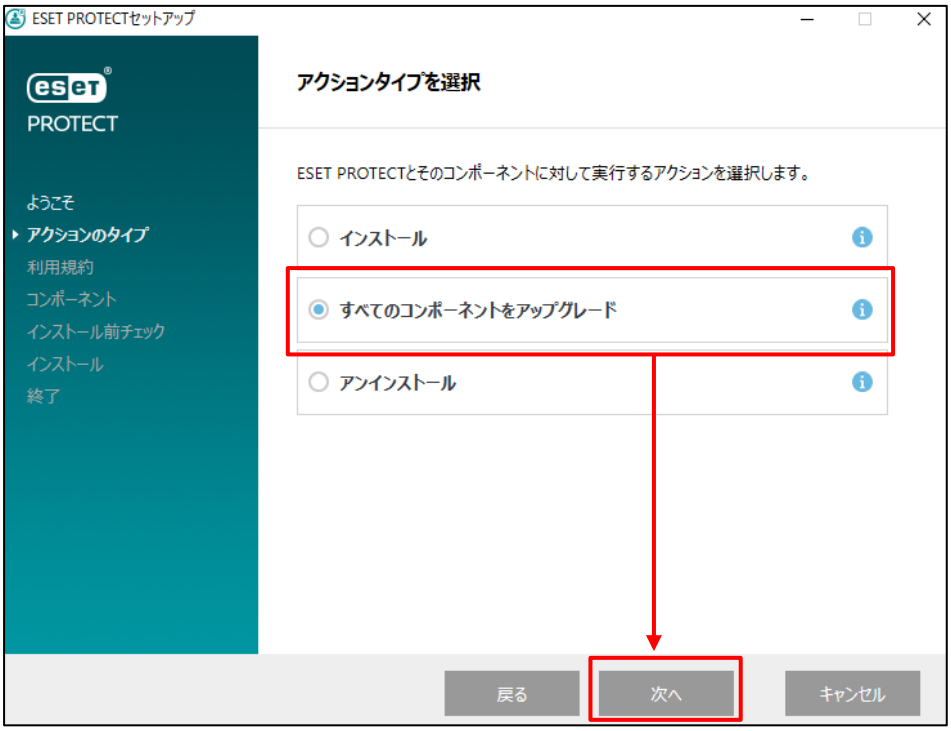
3. 「ユーザーアカウント制御」画面が出た場合は、[はい]ボタンをクリックします。



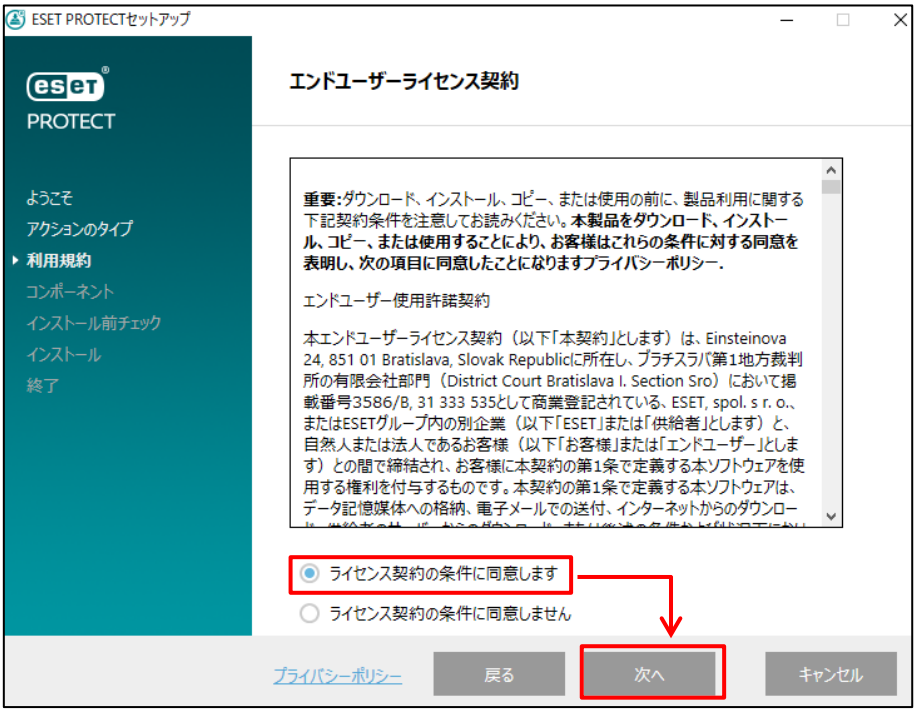
4. 言語で「日本語」を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。



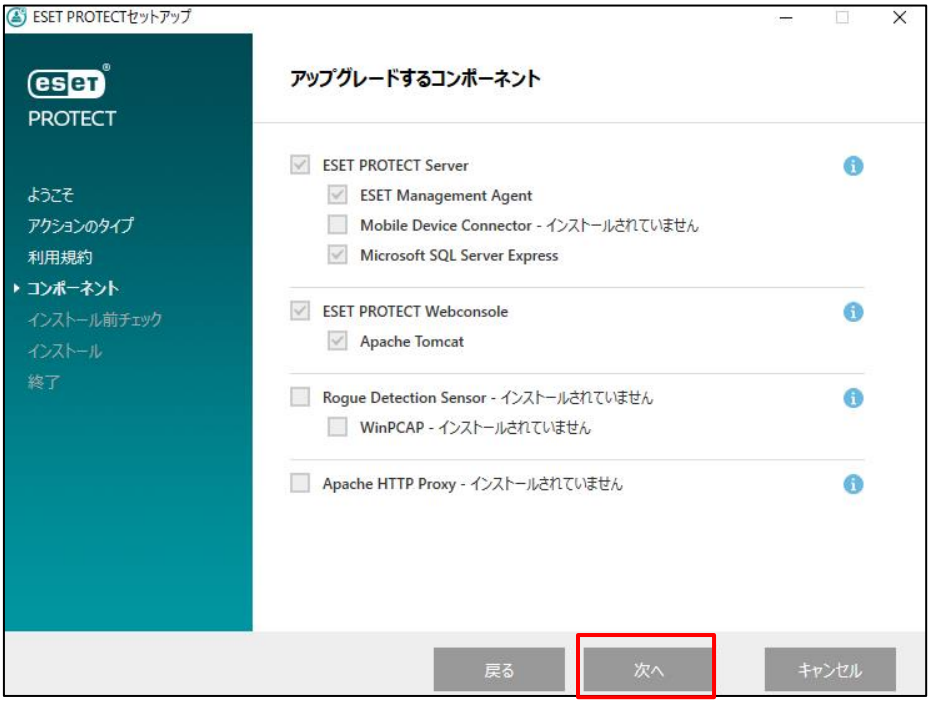
5. 「すべてのコンポーネントをアップグレード」を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。



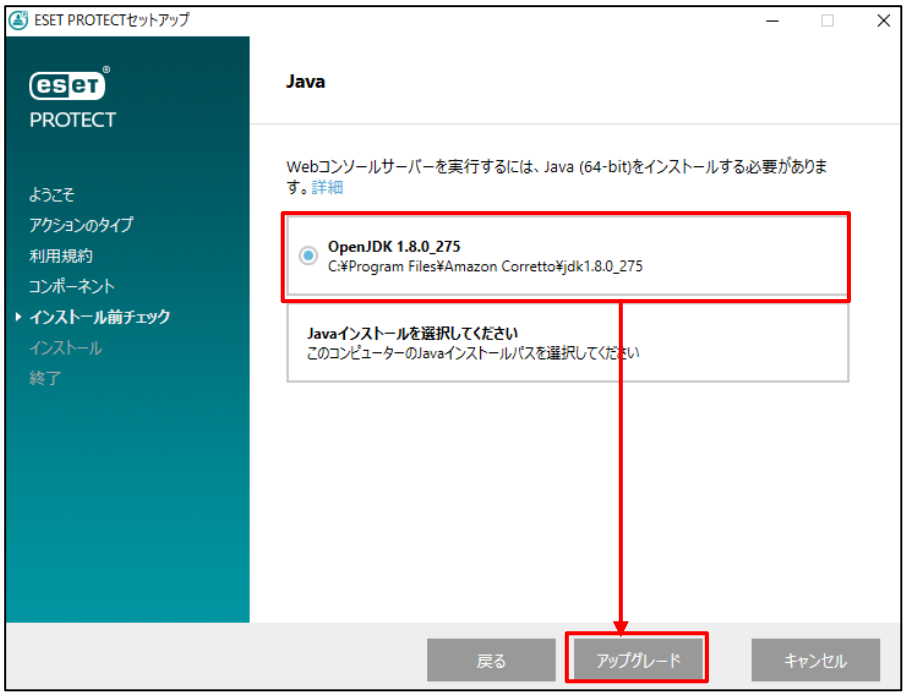
6. エンドユーザーライセンス契約に同意したら、「ラインセンス契約の条件に同意します」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



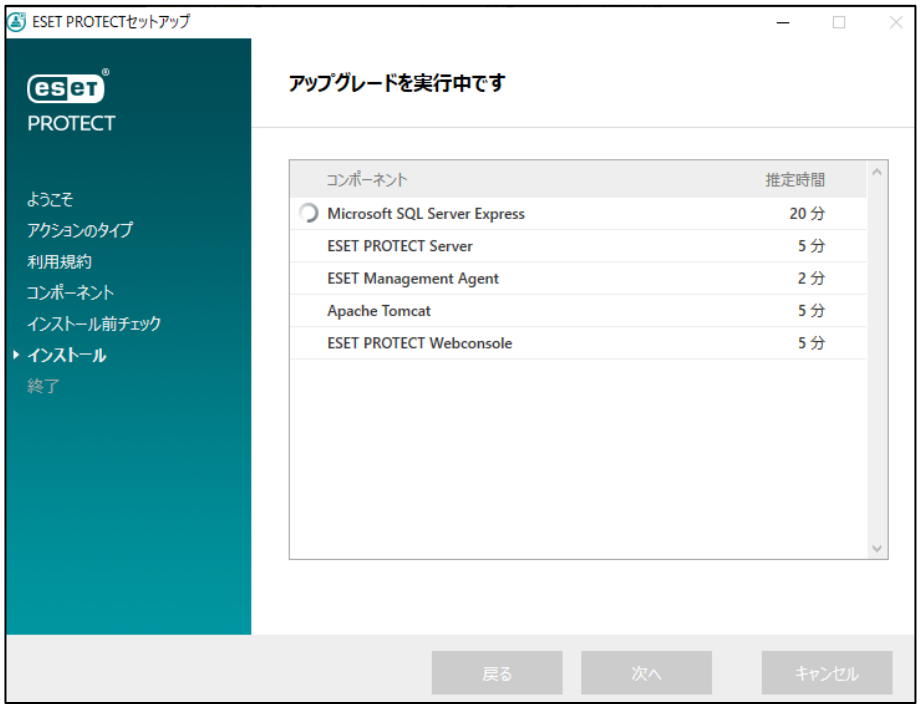
7. アップグレードするコンポーネントを確認し、[次へ]ボタンをクリックします。
※ERA V6.5 で利用しているコンポーネントがアップグレードされます。



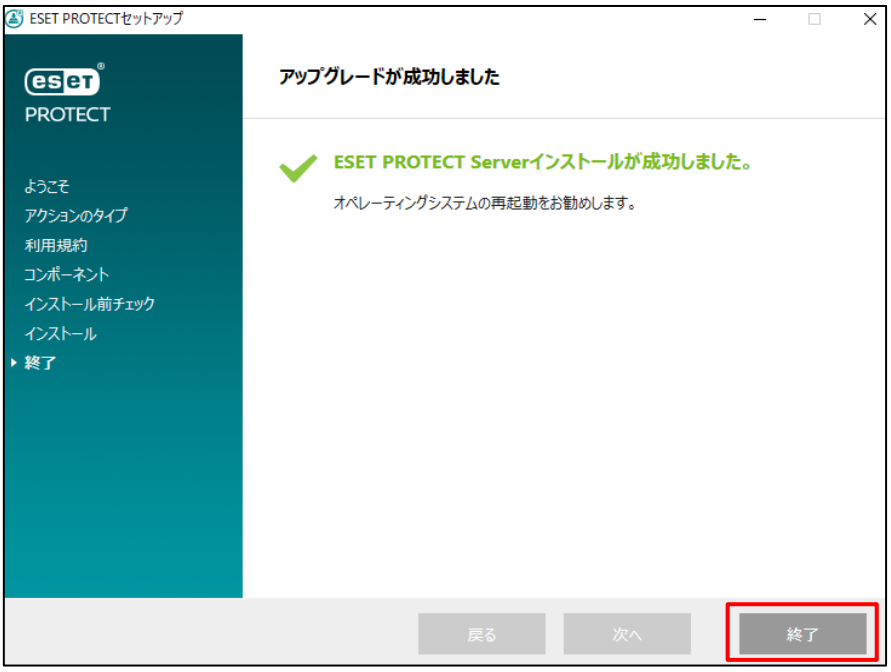
8. ご利用の Java を選択します。Amazon Corretto を利用している場合は、「OpenJDK」を選択し、[アップグレード]ボタンをクリックします。



9. アップグレードが実行されます。



10. アップグレードが完了したら、以下の画面が表示されます。
[終了]ボタンをクリックします。

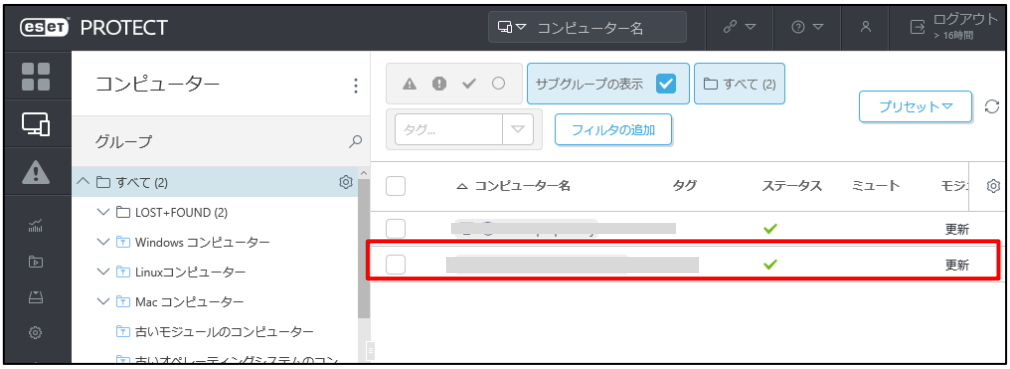


11. 再起動します。

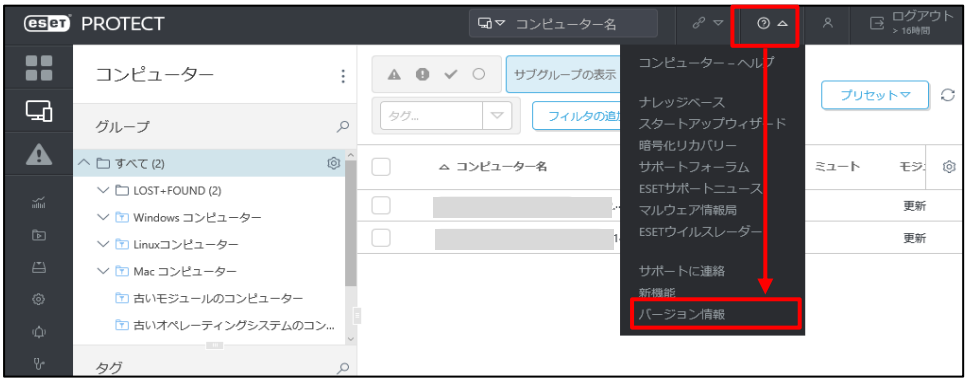
12. EP Web コンソール を起動して、ESET PROTECT に接続します。
ユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン]ボタンをクリックします。
※ EP Web コンソールには以下の URL よりアクセスできます。
https://＜管理サーバーのサーバー名、または、IP アドレス＞/era/

13. 以下の画面が表示されたら、「×」で閉じます。

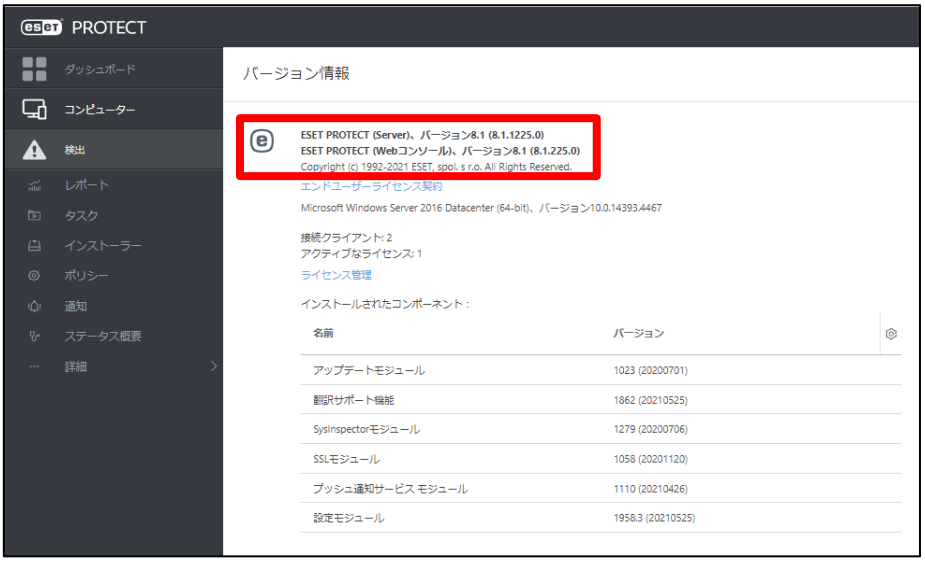
14. 「コンピューター」より、管理兼ミラーサーバーの再起動アラートが消えていることを確認します。
※他の原因でアラートが表示されている場合は、適宜ご対応ください。



15. 右上[ヘルプ]-[バージョン情報]をクリックします。



16. 「ESET PROTECT(Server)」と「ESET PROTECT(Web コンソール)」バージョンが、「8.1」であることを確認します。



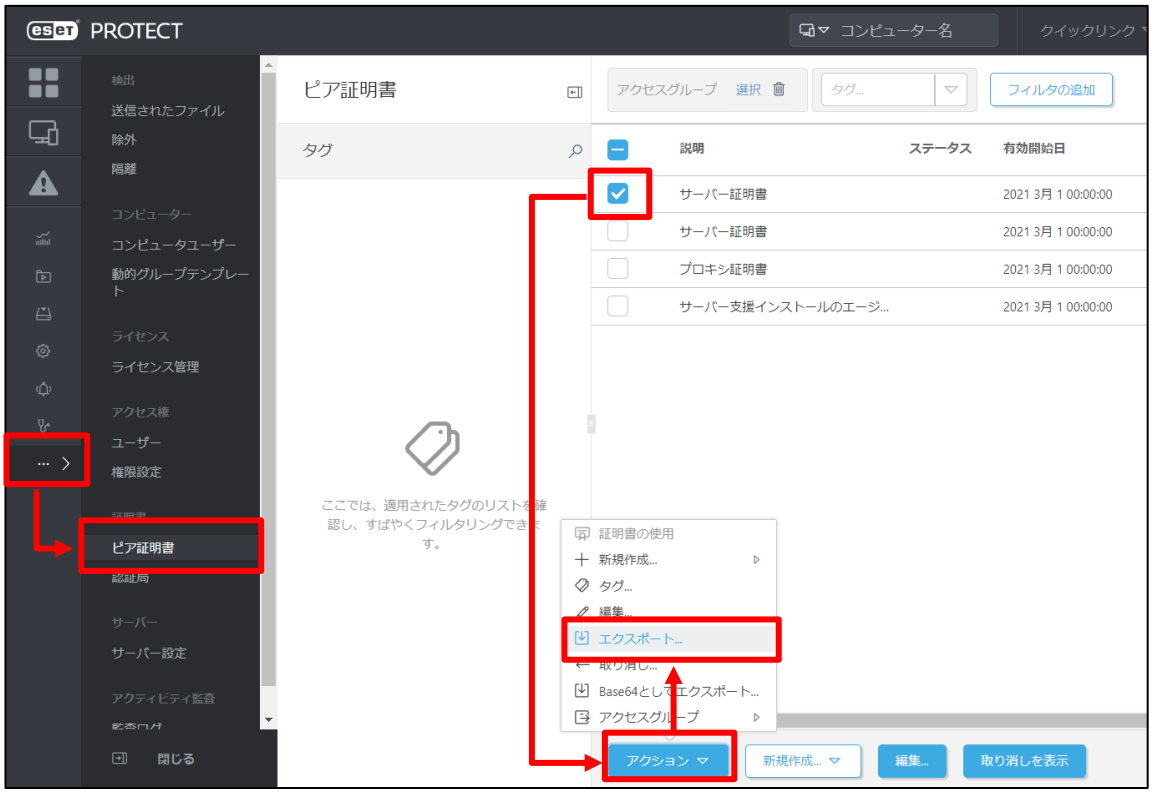
STEP5-4. データベースのバックアップ

【STEP1】 ESET Remote Administrator サーバーのバックアップと同様の方法で、再度 ESET PROTECT のデータベースとコンフィグレーションのバックアップを取得してください。
※バックアップ取得時には、ESET PROTECT サービスを停止する必要がありますのでご注意ください。

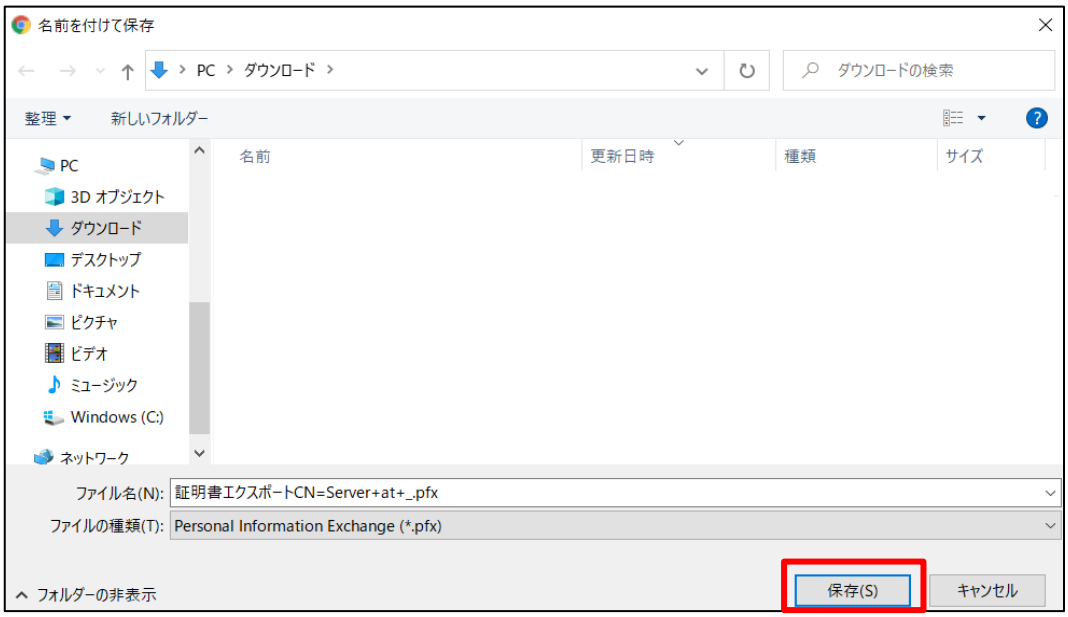
STEP5-5. ピア証明書と認証局のバックアップ

ESET PROTECT と EM エージェントの接続に使用しているピア証明書と認証局をエクスポートして、バックアップを取得します。

1. [詳細]-[ピア証明書]より、エクスポートを行う証明書を選択し、[アクション]より「エクスポート」をクリックします。

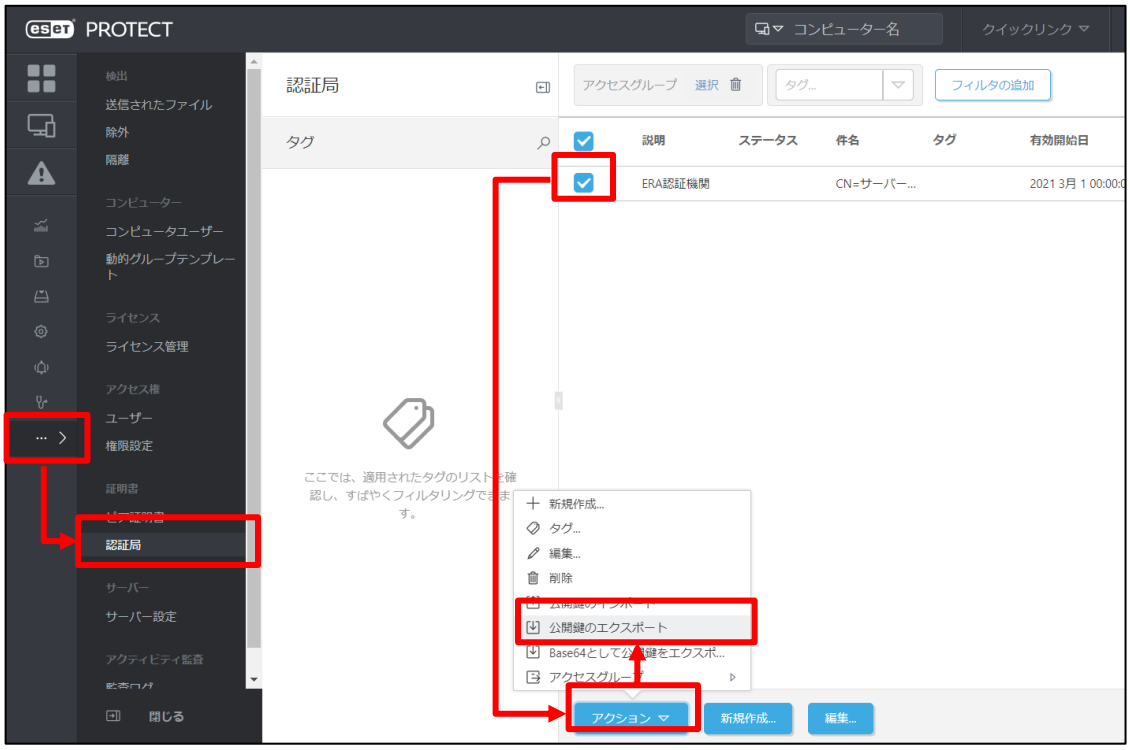


2. エクスポートした証明書を任意の保存先に保存します。

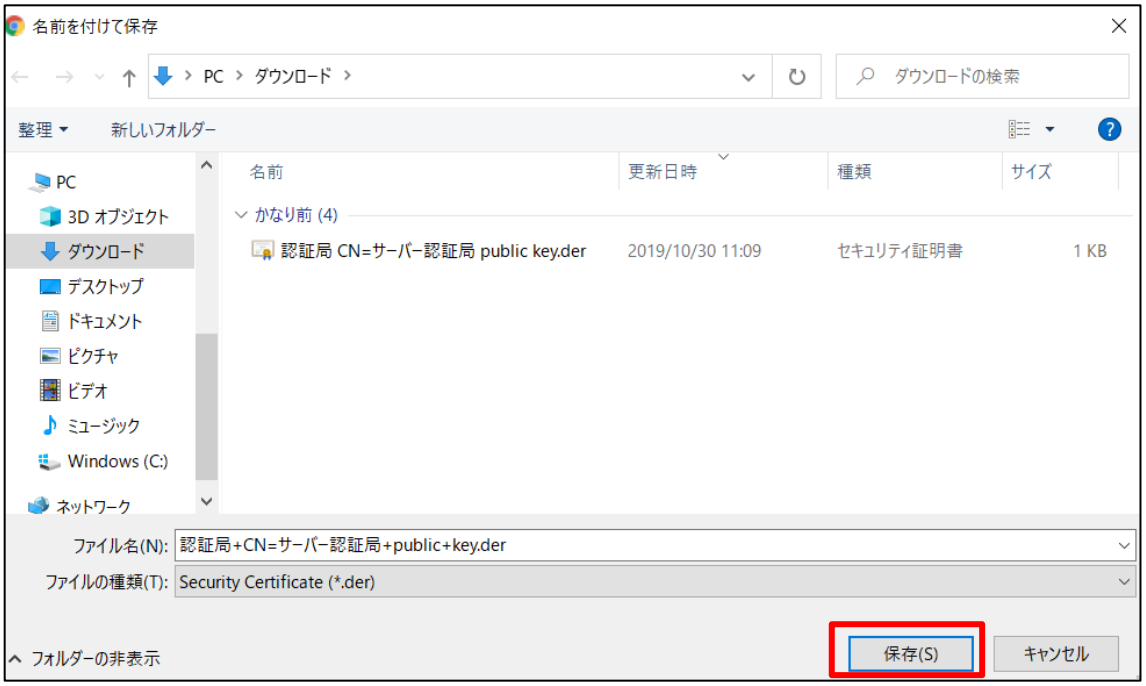


3. 手順 1～2 を繰り返し、各証明書のエクスポートを行います。

4. [詳細]-[認証局]より、エクスポートを行う認証局を選択し、[アクション]より「公開鍵のエクスポート」をクリックします。



5. エクスポートした公開鍵(認証局)を任意の保存先に保存します。



<参考>

不具合に伴うサーバーの再構築やリース切れに伴うサーバーのリプレースや増設をおこなう場合、クライアント端末の接続先を変更するため、旧サーバーのサーバー証明書や認証局を新サーバーにインポートする必要があります。
＜増設、または、新しく移行したオンプレミス型セキュリティ管理ツールへ接続するには？＞
https://eset-support.canon-its.jp/faq/show/13248?site_domain=business

以上で、サーバーのバージョンアップは完了です。

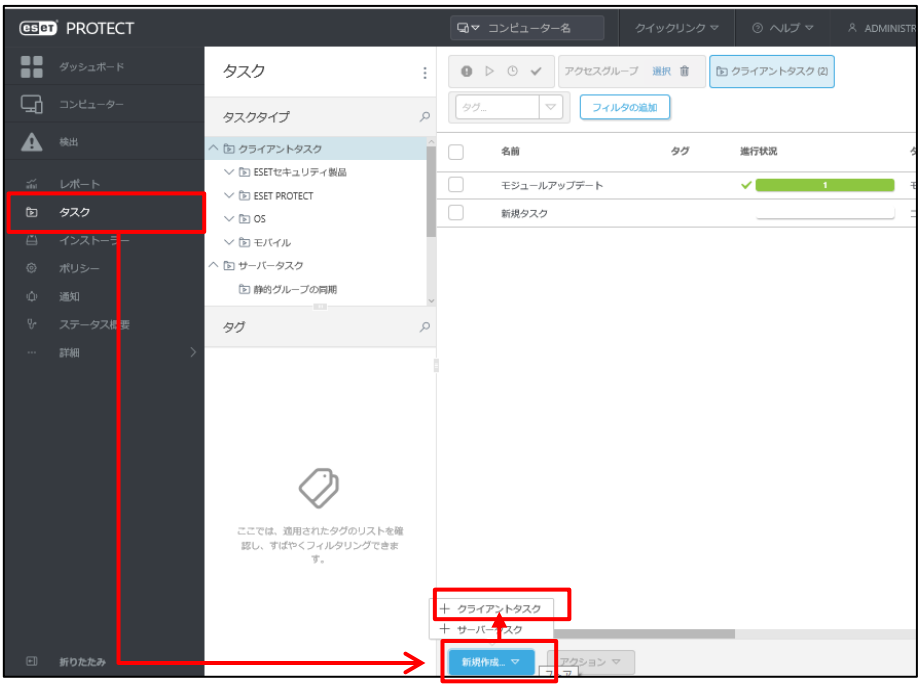
8.【STEP6】エージェントのバージョンアップ

クライアント端末の ERA エージェント V6.5 を EM エージェント V8.1 にバージョンアップします。

STEP6-1.クライアントのエージェントをバージョンアップ

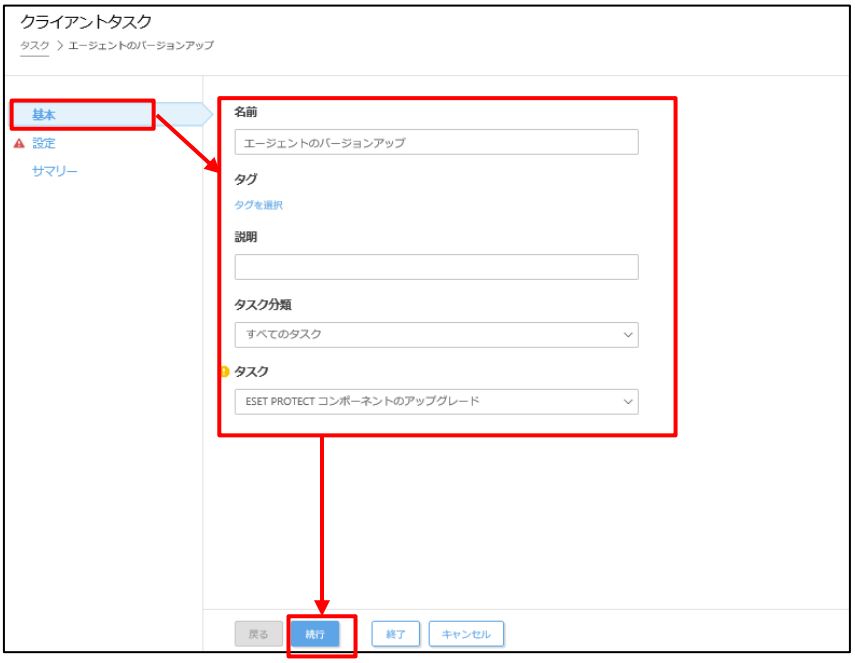
1. EP Web コンソール を起動して、ESET PROTECT に接続します。
   ユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン]ボタンをクリックします。
   ※ EP Web コンソールには以下の URL よりアクセスできます。
   https:// <管理サーバーのサーバー名、または、IP アドレス> /era

2. [タスク]-[新規作成]-[クライアントタスク]をクリックします。



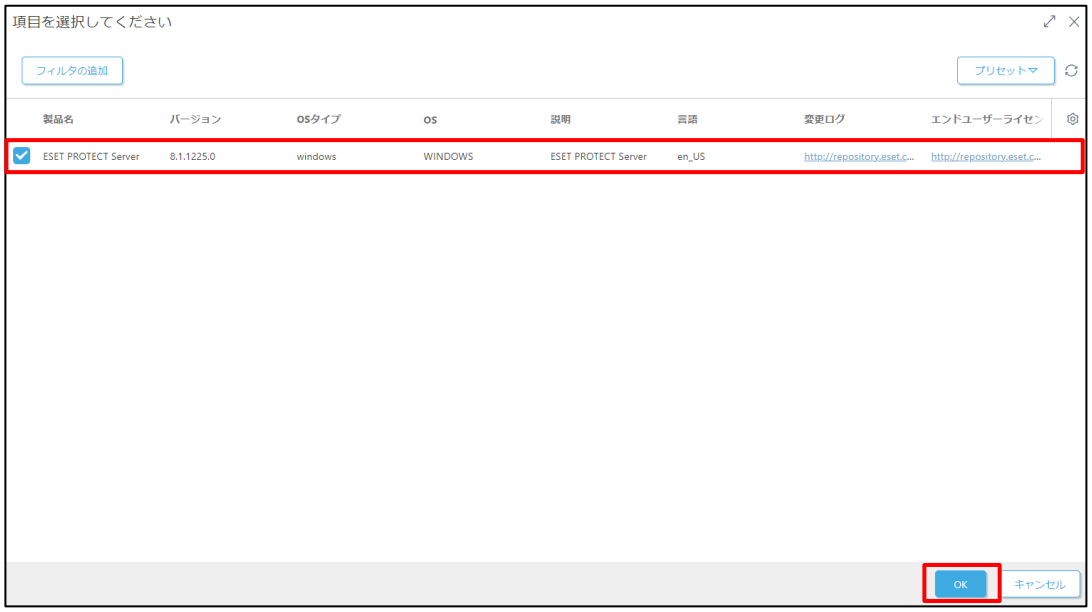
3. [基本]を展開し、以下の通り設定します。[続行]ボタンをクリックします。

名前	任意の名前(例：エージェントのバージョンアップ)
説明	任意の説明
タスク分類	すべてのタスク
タスク	ESET PROTECT コンポーネントのアップグレード

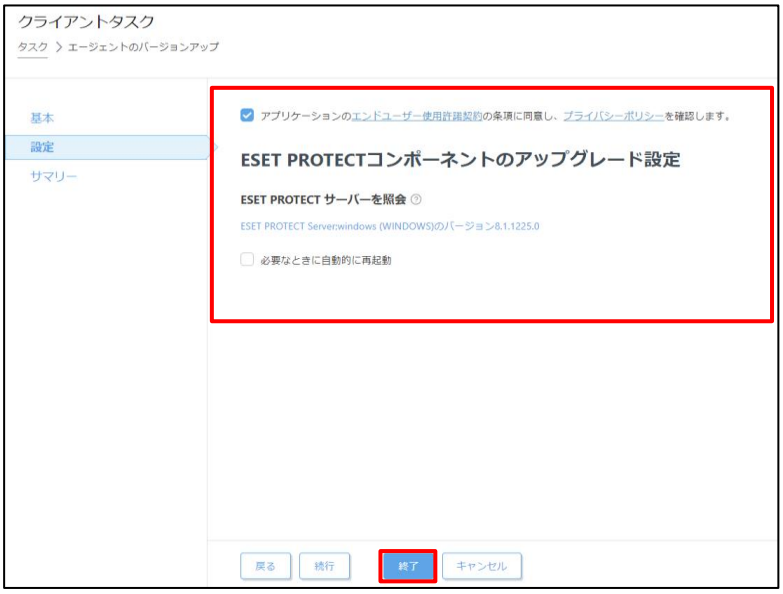


4. 「アプリケーションのエンドユーザー使用許諾契約の条項に同意し、プライバシーポリシーを確認します。」にチェックを入れます。
「 <サーバーを選択> 」をクリックします。

5. ESET PROTECT のコンポーネントを選択して[OK]ボタンをクリックします。

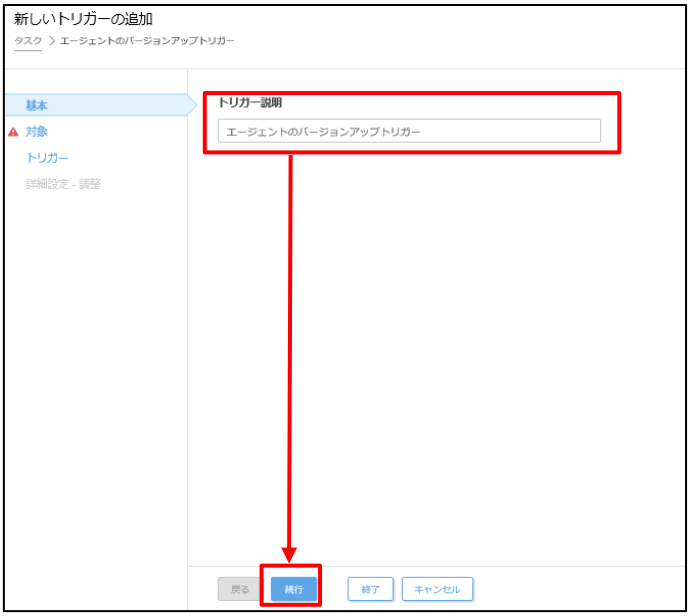


6. 選択内容に問題がないことを確認し、[終了]ボタンをクリックします。



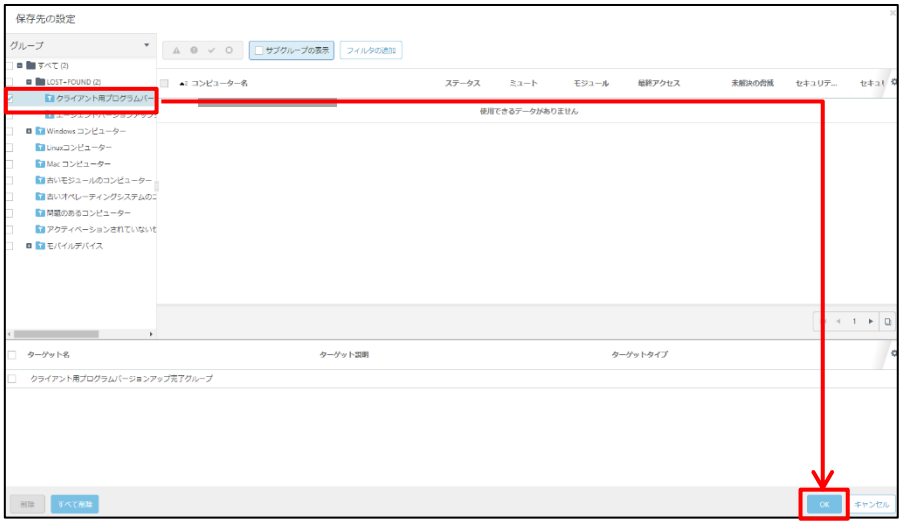
7. 以下の画面が表示されたら、[トリガーの作成]ボタンをクリックします。

8. [基本]を展開し、任意のトリガー説明(例：エージェントのバージョンアップトリガー)を入力します。
[続行]ボタンをクリックします。

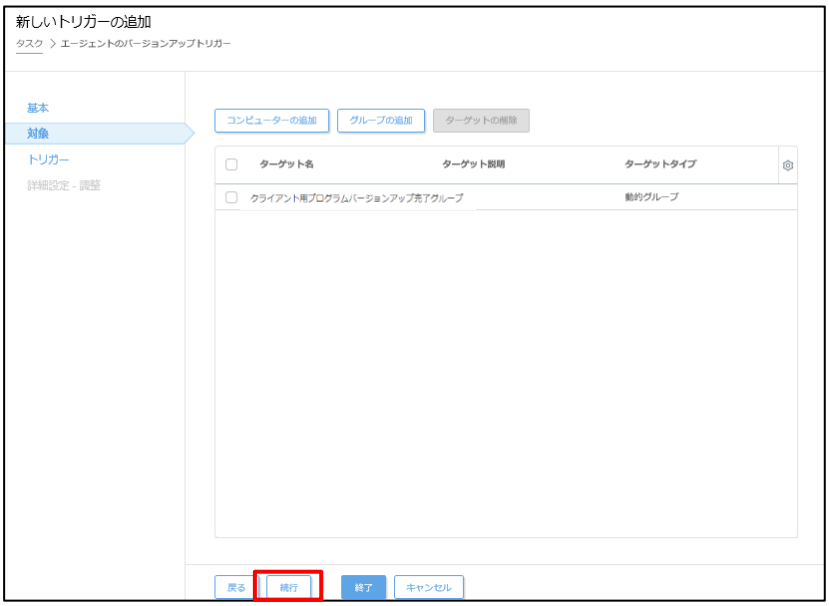


9. [ターゲット]を展開し、「コンピューターの追加」または「グループの追加」をクリックします。
※本手順では「グループの追加」を選択します。

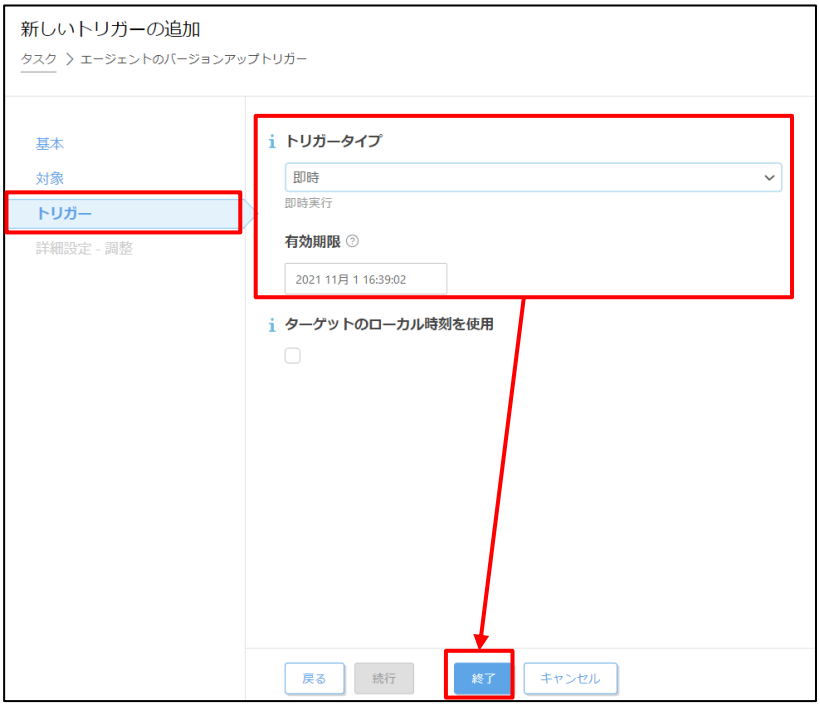
10. エージェントのバージョンアップを実施するコンピューター、または、グループを選択し、[OK]ボタンをクリックします。



11. [続行]ボタンをクリックします。



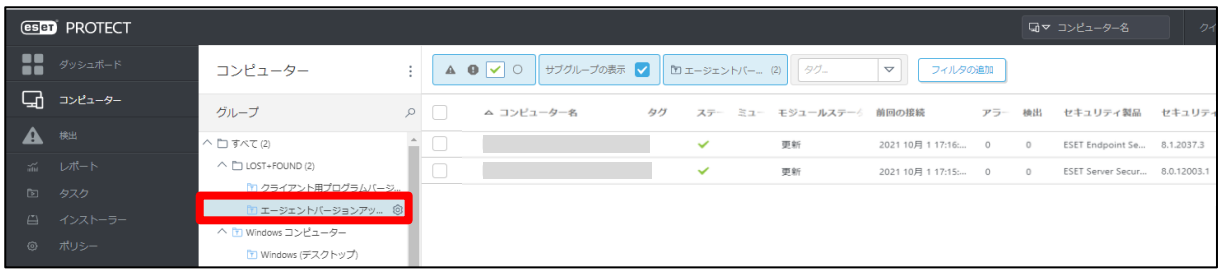
12. [トリガー]を展開し、「トリガータイプ」を選択します。
※本手順では「即時」を選択します。
[終了]ボタンをクリックします。



<参考>

タスクの実行により、クライアント端末からインターネットへバージョンアップ実施のための通信が発生します。ネットワークの負荷を懸念される場合は、グループやクライアントごとに実行時間を分散することをご検討ください。

13. 「コンピューター」より、【STEP3-1】で作成した**「エージェントバージョンアップ完了グループ」**に、バージョンアップしたクライアントが所属していることをご確認ください。



以上で、エージェントのバージョンアップは完了です。

9.【STEP7】 ESET PROTECT での管理開始

1. Web コンソール を起動して、ESET PROTECT に接続します。
   ユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン]ボタンをクリックします。
   ※ EP Web コンソールには以下の URL よりアクセスできます。
   https://＜管理サーバーのサーバー名、または、IP アドレス＞/era

2. 「コンピューター」より、管理しているクライアントのステータスが正常なこと、バージョンが EES/EEA の場合は「8.1」、ESSW の場合は「8.0」であることがそれぞれ確認できればバージョンアップ完了です。

以降のステップは、任意で実施してください。

10. 【STEP8】 既存ミラーサーバーへアップデート先変更

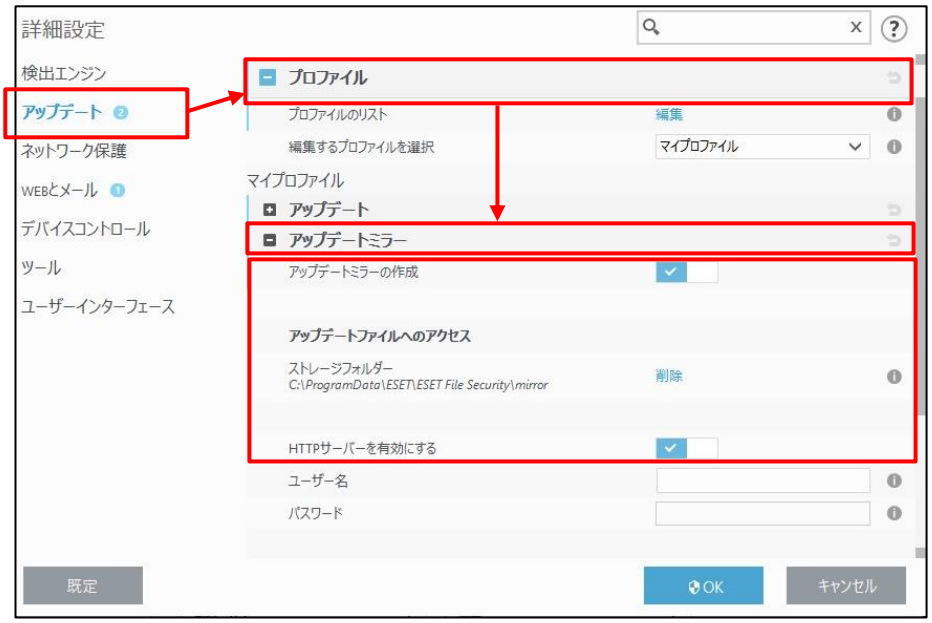
【STEP2】で、新バージョンに対応したミラーサーバーを構築しているため、既存サーバーの ESSW をミラーサーバーとして利用したい場合は、以下の手順を実施して、アップデート先を変更します。

STEP8-1. ESET Server Security for Microsoft Windows Server のミラー機能確認

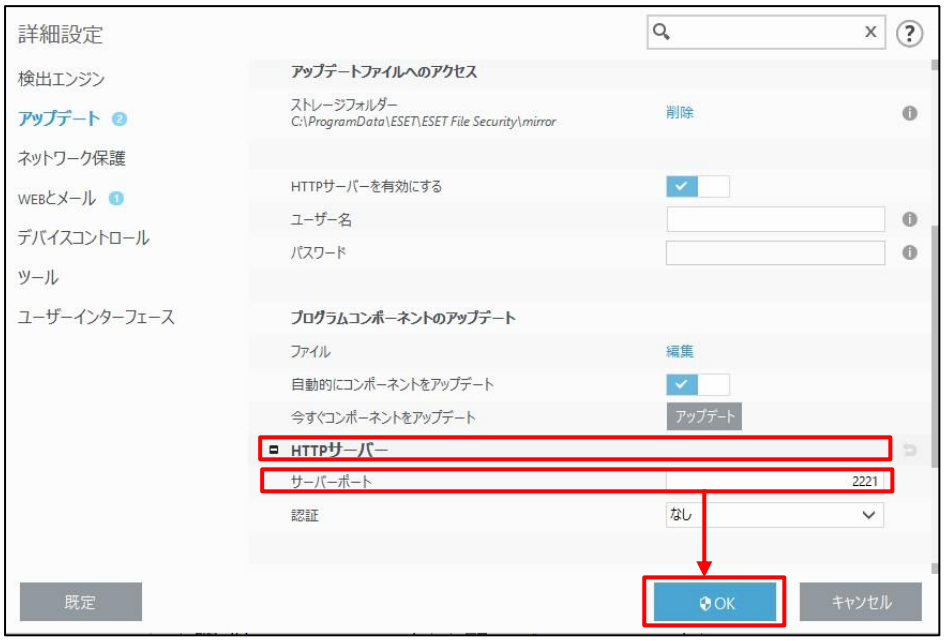
1. タスクトレイより、ESSW のアイコンをダブルクリックします。

2. F5 キーで詳細設定画面を開きます。
[アップデート]-[プロファイル]-[アップデートミラー]と展開し、以下の項目を確認します。

アップデートミラーの作成	有効
HTTP サーバーを有効にする	有効



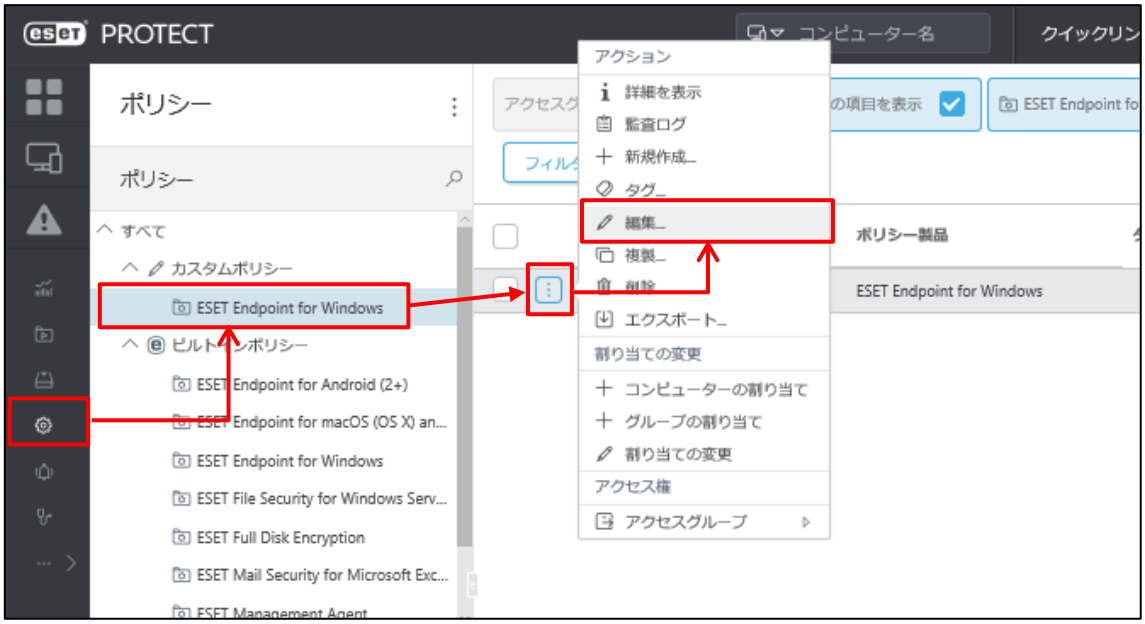
3. スクロールして、「HTTP サーバー」-「サーバーポート」より、公開ポートを確認します。
問題なければ、[OK]ボタンをクリックし、EFSW を閉じます。



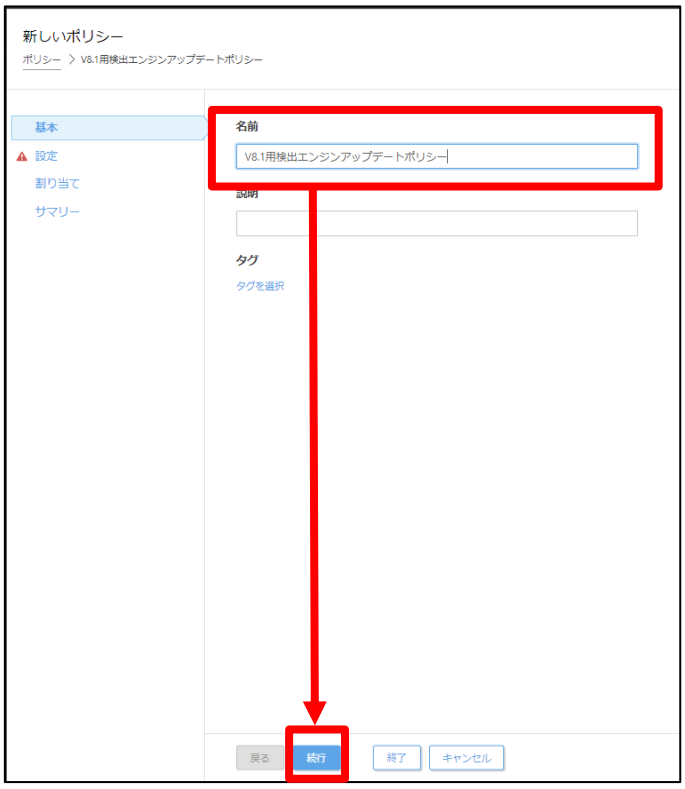
STEP8-2.クライアント用プログラムのアップデート先変更

1. EP Web コンソール を起動して、ESET PROTECT に接続します。
ユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン]ボタンをクリックします。
※ EP Web コンソールには以下の URL よりアクセスできます。
https:// <管理サーバーのサーバー名、または、IP アドレス> /era

2. 「ポリシー」より、【STEP3-2】で作成した V8.1 用検出エンジンアップデートポリシーを選択し、「編集」をクリックします。



3. [基本]で、名前を確認します。
[続行]ボタンをクリックします。



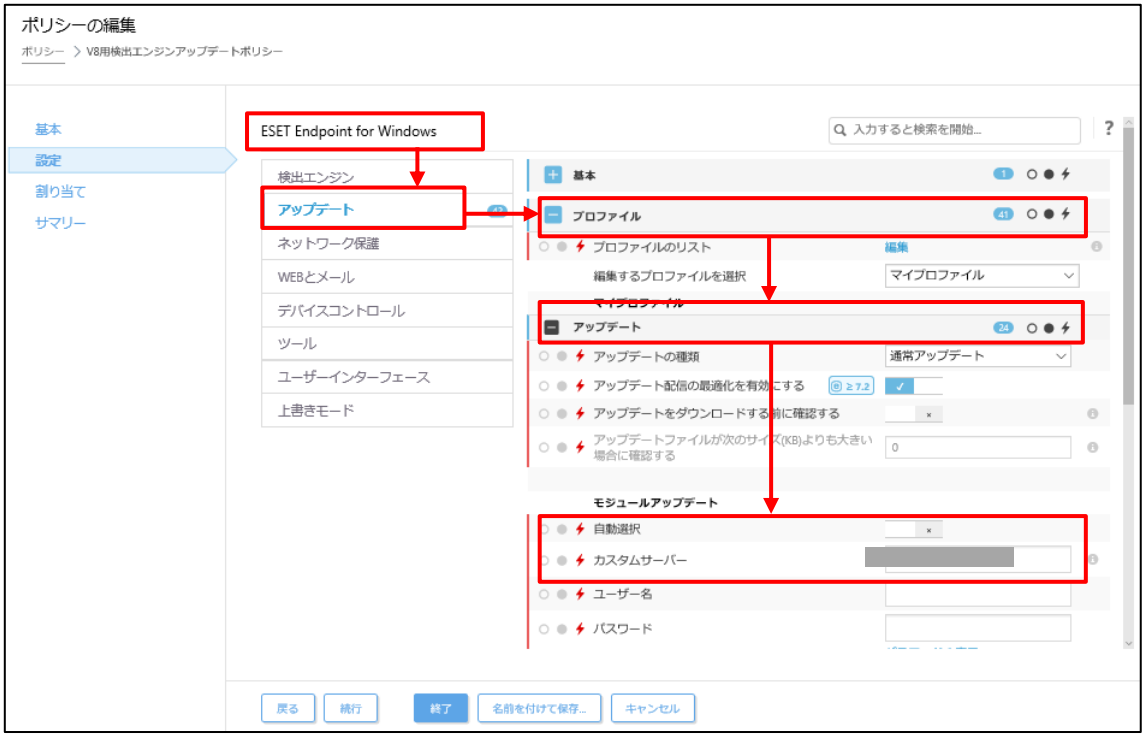
4. 製品が問題ないことを確認します。

※ここでは、Windows クライアント用プログラムに適用しているため、
「ESET Endpoint for Windows」を選択しています。

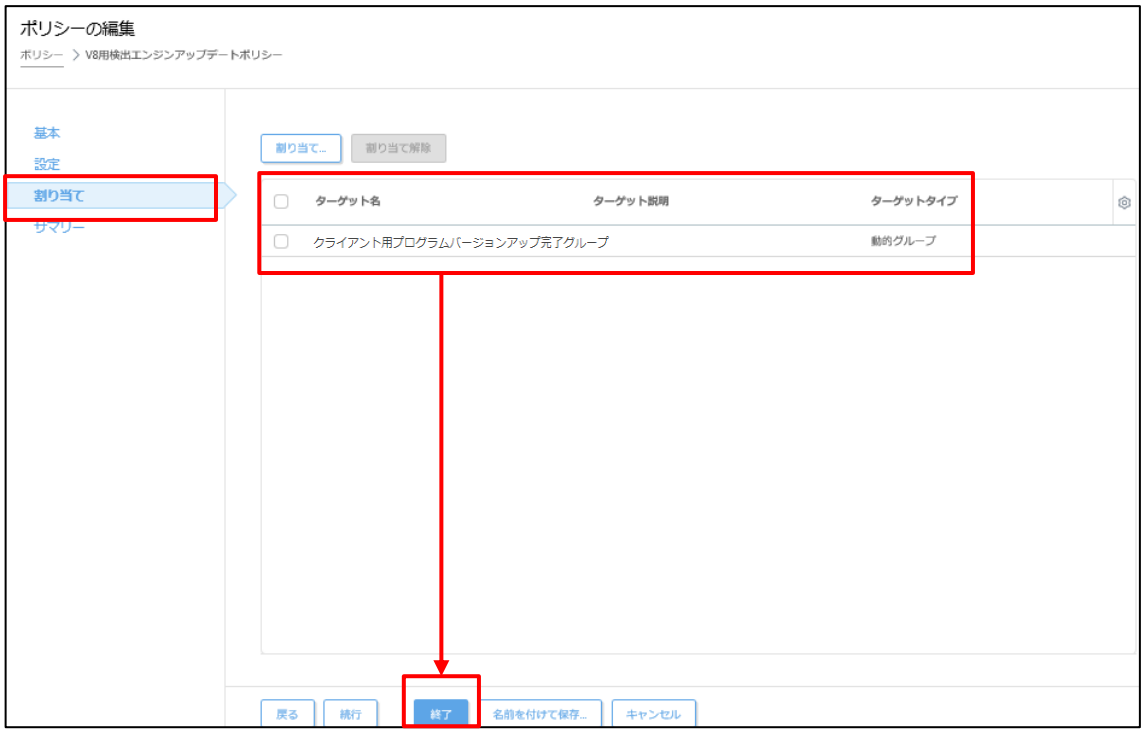
[アップデート]-[プロファイル]-[アップデート]と展開し、以下の通り設定します。

フラグは、「 」の強制適用を選択します。

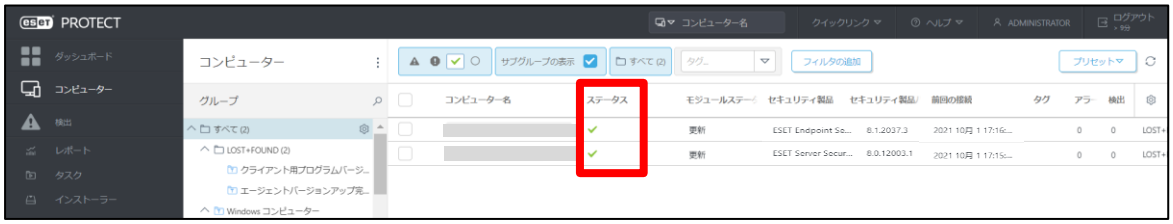
モジュールアップデート	
自動選択	無効
カスタムサーバー	http://<既存ミラーサーバーIP アドレス>:<ポート> ※STEP8-1 で確認した ESSW の IP アドレスとポート番号を入力してください。



5. 「割り当て」を展開し、ポリシーの適用先が間違っていないことを確認します。
[終了]ボタンをクリックします。



6. しばらくするとポリシーが適用されます。
「コンピューター」にて、クライアント端末のステータスに問題がないかご確認ください。
※クライアントの接続間隔によっては、ポリシーが適用されるまで時間を要する可能性があります。



以上で、既存ミラーサーバーへアップデート先変更は完了です。

11. 【STEP9】新バージョン対応のために構築したミラーサーバーの停止

【STEP8】にて、クライアントのアップデート先がすべて既存サーバーに戻ったことを確認できたので、【STEP2】で構築したミラーサーバーを停止します。

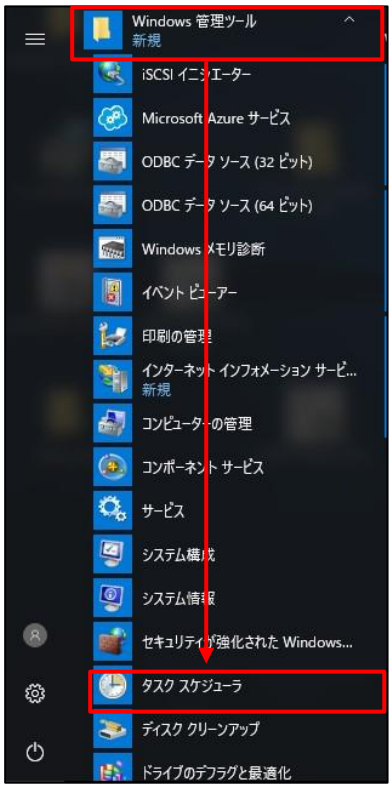
◆新規でサーバーを用意した場合

ESSW のミラー機能を無効にします。
【STEP8-1】を参照して「アップデートミラーの作成」を無効にしてください。

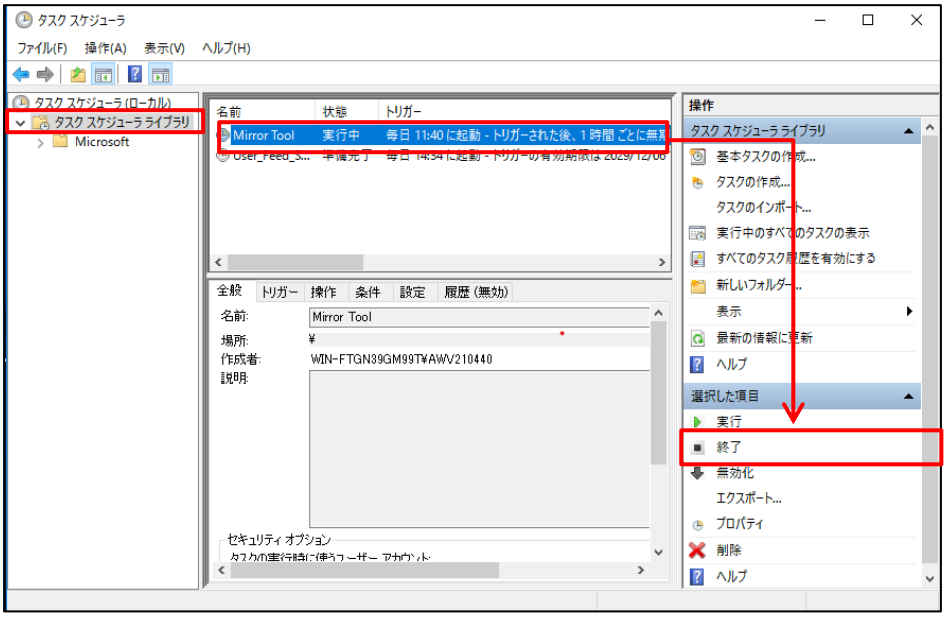
◆既存サーバーを利用した場合

ミラーツールで利用した、タスクスケジューラの削除と IIS の停止を行います。
以下の手順を実施してください。

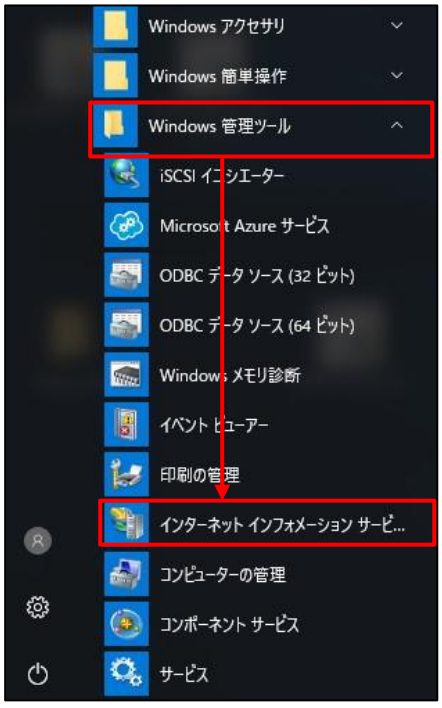
1. 「スタートボタン」-「Windows 管理ツール」より、「タスクスケジューラ」を起動します。



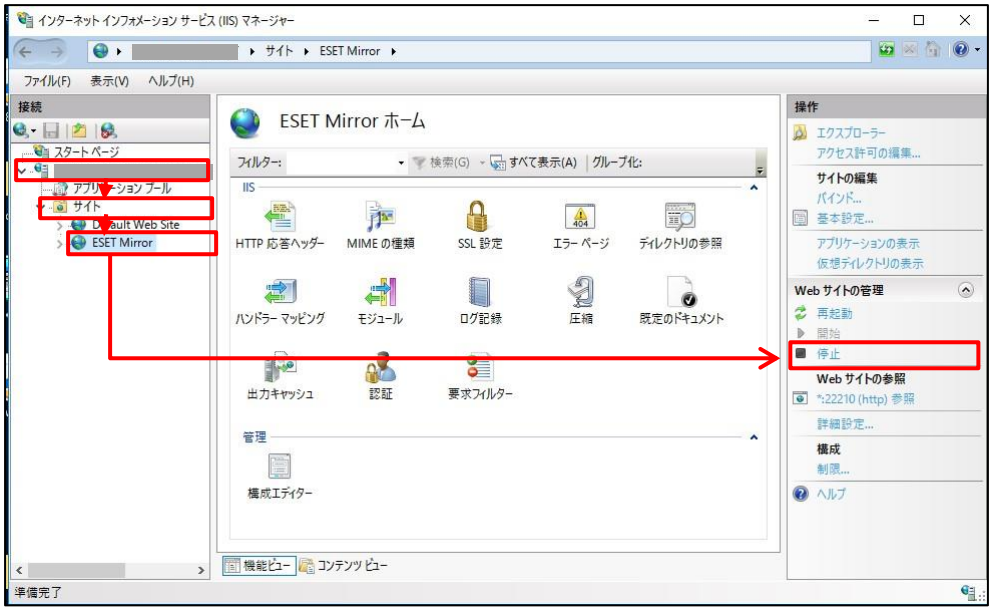
2. 「タスクスケジューラライブラリ」より、利用していたタスク「Mirror Tool」を選択し、「終了」をクリックします。



3. 「スタートボタン」-「Windows 管理ツール」より、「インターネットインフォメーションサービスマネージャー」を起動します。



4. [サーバー名]-[サイト]-[ESET Mirror]を選択し、「停止」をクリックします。



以上で、新バージョン対応のために構築したミラーサーバー停止は完了です。

12. 【STEP10】 ESET PROTECT での管理開始

1. Web コンソール を起動して、ESET PROTECT に接続します。
   ユーザー名とパスワードを入力し、[ログイン]ボタンをクリックします。
   ※ EP Web コンソールには以下の URL よりアクセスできます。
   https://＜管理サーバーのサーバー名、または、IP アドレス＞/era

2. 「コンピューター」より、管理しているクライアントのステータスが正常なこと、バージョンが EES/EEA の場合は「8.1」、ESSW の場合は「8.0」であることがそれぞれ確認できればバージョンアップ完了です。

以上で、バージョンアップ作業はすべて完了です。